

 **SkyPDF® Professional 7**

 **SkyPDF® Standard 7**

 **SkyPDF® Viewer 7**

ユーザーマニュアル

(b.ウィンドウ変更／ファイル操作／閲覧)

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7（以下、本製品）で共通して使用できる機能を説明するものです。

本製品をご使用の際には本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本製品は、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

当社の書面による事前の許可なしに本書および本製品について複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本製品を輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

予めご了承ください。

商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：SkyPDF7_ユーザーマニュアル(a.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名、および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
目次	3
用語集	4
1 概要	6
2 製品の起動と終了	7
2.1 起動方法	7
2.2 終了方法	7
3 環境設定	8
3.1 [ページ設定] タブ	8
3.2 [関連付け] タブ	9
3.3 [印刷設定] タブ	10
3.4 [言語環境] タブ	11
3.5 [WebDAV] タブ	11
3.6 [時限] タブ	12
3.7 [埋め込みファイル] タブ	12
3.8 [フォーム] タブ	13
4 ウィンドウの表示	14
4.1 言語の変更	14
4.2 ツールバーの変更	14
4.3 ステータスバーの変更	15
5 ファイル操作	16
5.1 ファイルを開く	16
5.2 ファイルを閉じる	21
5.3 保存	22
5.4 PDF チェッカー	23
5.5 文書のプロパティ	24
5.6 電子メール	26
5.7 印刷	27
6 ファイル内容の閲覧	31
6.1 選択モード	31
6.2 ナビゲータ	31
6.3 検索	32
6.4 ページ移動	32
6.5 ページ表示の変更	33
6.6 表示倍率の変更	34
6.7 表示の回転	35
6.8 全画面表示	35
6.9 世代表示	36
6.10 選択とズーム	37
6.11 サウンド・ビデオの再生	40
6.12 タッチで操作する（タッチ操作可の端末のみ）	41
7 バージョン情報の確認	49


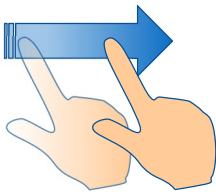


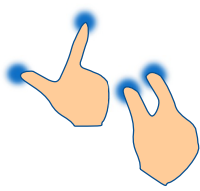

用語集

本書における主な用語の定義を説明します。

※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
SkyPDF Viewer	当社が無償配布している PDF 閲覧ソフト PDF ファイルの閲覧機能のみの提供となり、編集・作成はできない ダウンロードページ： https://www.skycom.jp/free/
SkyPDF Standard	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Viewer が提供する機能に加えて、PDF 作成機能や編集機能を備えている
SkyPDF Professional	当社が販売している PDF 作成・閲覧・編集が可能なソフト SkyPDF Standard の上位版となり、Standard が提供する機能に加えて、高度な PDF 編集機能を備えている
SkyPDF SmartWorker	SkyPDF Professional のオプション製品 フォーム PDF の作成やフォームデータの抽出、リッチメディアの追加などの機能を備えている
SkyPDF Touch Ink for win	SkyPDF Professional のオプション製品 インク入力機能を備えている
環境設定	本製品の各種設定を行うための機能 [ツール] メニューか、あるいはツールバーのアイコンから
しおり	目次のように、各見出しへのリンクが付けられているもの
コンテキストメニュー	マウスで特定の場所を右クリックしたときに表示されるメニュー

【タッチ操作機能の用語】

	イラスト	操作	詳細
タッチポイント	—	—	画面に触れるポイント
タップ		画面に軽く 1 回タッチする	6.12.1 ページ移動 (タップ)
スワイプ		画面上を軽く横(または縦)方向にスライドする	6.12.2 ページ移動 (スワイプ)
ダブルタップ		画面に軽く 2 回タッチする	6.12.3 ページの拡大表示 (ダブルタップ)
パン		画面を押さえたまま横(または縦)方向に指をスライドする	6.12.4 ページのスクロール (パン)
ピンチイン／ピンチアウト		ピンチイン：画面を指でつまむように動かす ピンチアウト：画面上の 2 点間を広げるように動かす	6.12.5 ズーム機能 (ピンチイン / ピンチアウト)
長押し		画面を長く押さえる	6.12.7 コンテキストメニュー表示 (長押し)

1 概要

SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7 は、どのエディションでも、PDF の閲覧・印刷および署名の検証が可能です。

本書では、SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7 で共通する以下の機能について説明します。

- 製品の起動と終了
- 環境設定
- ウィンドウの表示
- ファイル操作（開く / 閉じる / 保存 / 印刷など）
- ファイル内容の閲覧

ただし、一部 SkyPDF Standard 7 か、SkyPDF Professional 7、それらと同等の製品でしか設定できない項目の説明もあります。

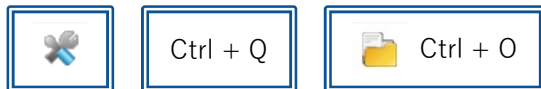
その場合は

※ PDF の編集が可能な製品エディションであれば編集可能です。

※ Standard / Professional エディションのみ

などの注意書きを記載します。

また、ツールバーにアイコンがある操作、ショートカットキーがある操作、その両方がある操作は、



のようにアイコンとショートカットキーを記載します。

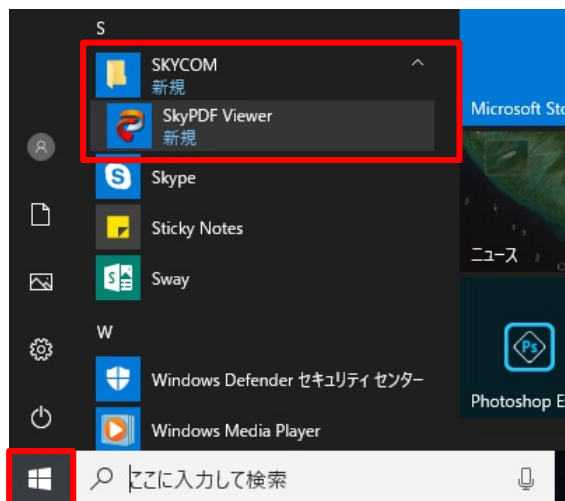
2 製品の起動と終了

本製品の起動方法と終了方法を説明します。

2.1 起動方法

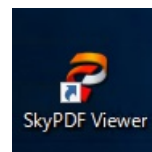
スタートメニューのアプリ一覧から選択することで、本製品を起動できます。

※ 製品名はインストールしたエディションによって異なります。



デスクトップに追加されたショートカットをダブルクリックすることでも起動できます。

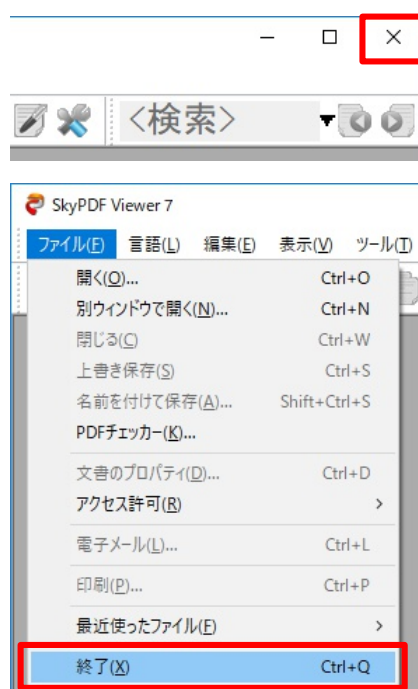
※ 本製品のショートカットは、[ショートカットをデスクトップに配置する] 設定を有効にしてインストールした場合に表示されます。



2.2 終了方法

ウィンドウ右上の [×] ボタンをクリックすると、本製品は終了できます。

Ctrl + Q



[ファイル] メニューの [終了] を選択することでも終了できます。

3 環境設定

本製品の各種詳細設定は、[ツール] メニューの [環境設定] で行います。

※ 本章に説明のない環境設定の項目は、別紙の該当機能の章にて説明します。



3.1 [ページ設定] タブ

環境設定の [ページ設定] タブでは、PDF の表示・レイアウトに関する設定が可能です。

環境設定

インク入力 サーバー連携 イメージ挿入 埋め込みファイル フォーム
電子署名 署名テキスト 捺印 アマノタイムスタンプ SEIKOタイムスタンプ
ページ設定 関連付け 印刷設定 言語環境 注釈 WebDAV 時限

開き方の設定

デフォルトレイアウトとズーム
レイアウト(S): **連続ページ表示** ズーム(M): **幅に合わせる**

☒ 他のファイルへのリンクを同じウィンドウで開く(Q)

[全体表示]メニュー・ボタンの動作
☒ 全体表示のみ(E) ☐ 全体表示 + 単ページ(B)

[幅に合わせる]メニュー・ボタンの動作
☒ 幅に合わせるのみ(G) ☐ 幅に合わせる + 連続ページ(E)

プログレスバーの表示
☐ 描画中プログレスバーを表示する(V) ☒ 検索中プログレスバーを表示する(K)

ドキュメントの表示形式(次のアプリケーション/起動から有効になります)
☒ TAB ☐ MDI

保存オプション
保存後のPDFバージョン(Q): **変更しない**
※保存時には既存のPDFバージョンより大きい場合に反映されます。
保存方式
保存方式は、セキュリティ設定されていない、セキュリティ設定に変更がない、署名されていない、PDF印鑑が捺印されていない場合のみ有効です。
☒ 増分更新(I) ☐ 再構成(R) ☐ Webページ用に最適化(L)
デフォルト(D)

OK キャンセル 適用(A)

デフォルトレイアウトとズーム：PDF ファイルを開くときの、ページのレイアウトとズームの設定
(参照：[6.5 ページ表示の変更](#))

他のファイルへのリンクを同じウィンドウで開く：しおりやリンク機能で他のファイルにジャンプする際、元のファイルを閉じてから同じウィンドウで開く

※ しおり（またはリンク）のプロパティで以下の設定の場合にのみ有効
アクション種類：ファイルを開く
ページを開く：環境設定で設定されたウィンドウ

[全体表示] メニュー・ボタンの動作：
[全体表示] を実行したときの動作を設定

[幅に合わせる] メニュー・ボタンの動作：
[幅に合わせる] を実行したときの動作を設定

プログレスバーの表示：PDF ファイルの描画表示処理中や、テキスト検索処理中に、プログレスバーを表示

複数の PDF ファイルを開くときの表示方法
TAB：タブ選択で表示を切り替える
MDI：別ウィンドウで表示

※ Standard / Professional エディションのみ

保存後の PDF バージョン：PDF バージョンを 1.4 以上に変更できる。ただし、PDF 2.0 を PDF 1.4 にするなどの古いバージョンにダウングレードすることはできない

保存方式：以下の条件を満たす場合のみ有効な、PDF ファイルに変更を加えたときの保存方法

- ・セキュリティが設定されていない
- ・セキュリティ設定に変更がない
- ・署名されていない
- ・PDF 印鑑が捺印されていない

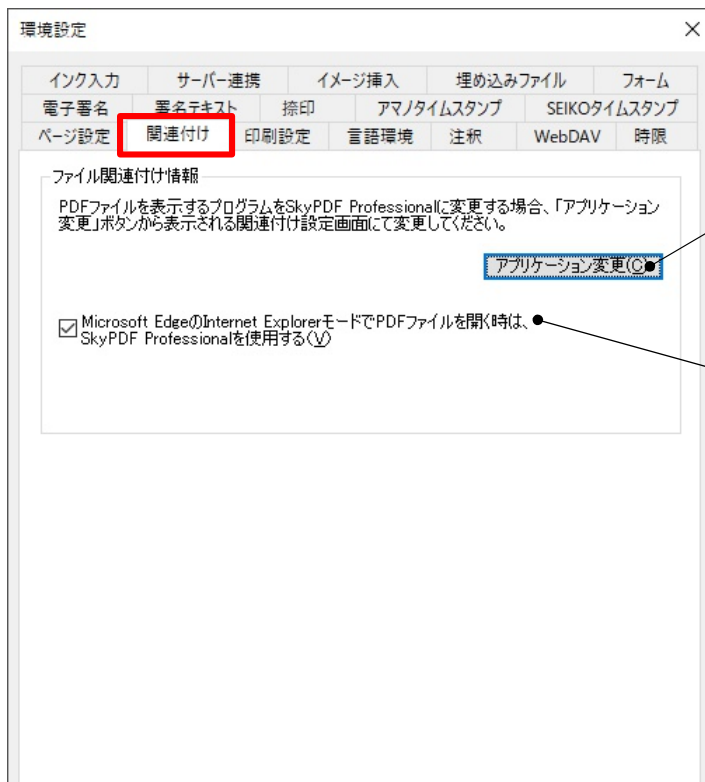
増分更新：既存の内部データをそのまま維持して、変更に関する新たなデータを末尾に追加する形で保存する

再構成：既存のデータか新たなデータかを問わず、PDF を構成するすべての要素を再構成して保存する

Web ページ用に最適化：Web ブラウザーで PDF ファイルを開く場合に、最初に開くページを可能な限り素早く表示できるよう、再構成して保存する

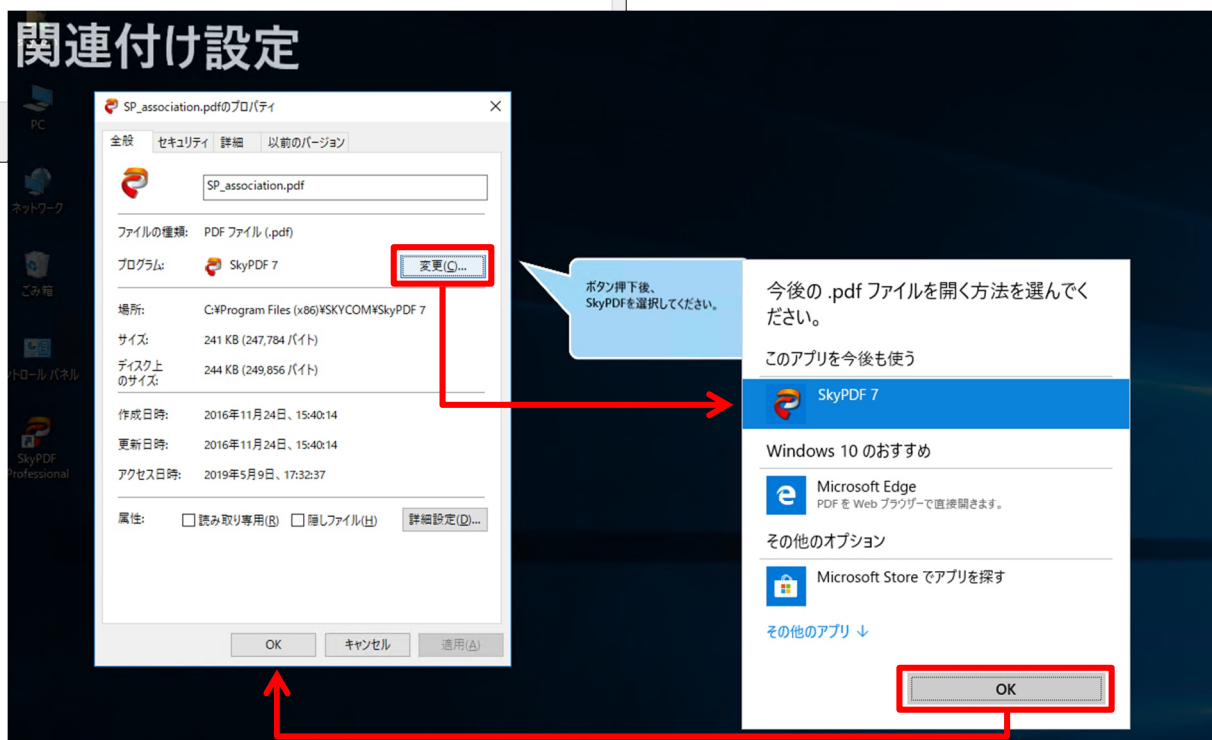
3.2 「関連付け」 タブ

本書および本製品における「関連付け」とは、PDFを表示する既定のアプリを設定することを指します。



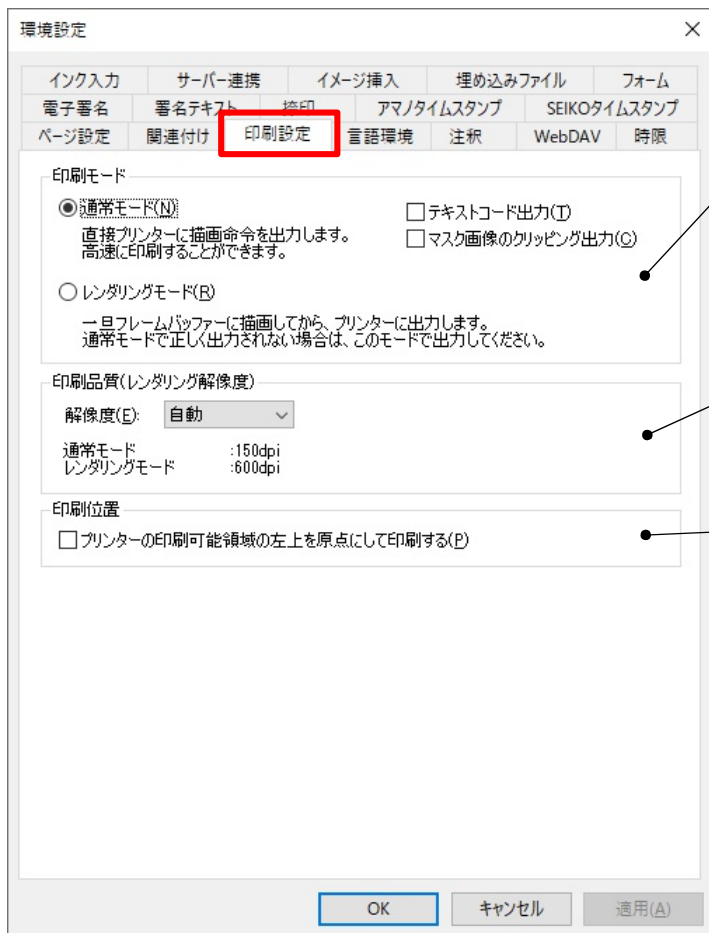
アプリケーション変更：PDF ファイルを表示するアプリケーションを変更する場合、[アプリケーション変更] を押すと表示される関連付け設定画面で設定してください。

Microsoft Edge (Internet Explorer モード) で PDF を開くとき、本製品を使用する場合はチェックを入れてください。



3.3 「印刷設定」タブ

環境設定の「印刷設定」タブでは、印刷モード、印刷品質（レンダリング解像度）、印刷位置について設定できます。



印刷モード：

[通常モード]か[レンダリングモード]を指定
[通常モード]時のみ、以下の選択が可能

テキストコード出力：

文字が正しく出力されない場合

マスク画像のクリッピング出力：

透過されている画像が正しく出力されない場合

印刷品質： 解像度をプルダウンリストから選択

- ・ 自動（通常モード：150dpi、レンダリングモード 600dpi）
- ・ 72, 150, 300, 400, 600dpi

印刷位置： 印刷の原点を左上に設定する場合に選択

3.4 「言語環境」タブ

環境設定の「言語環境」タブでは、本製品の表示言語について設定できます。

本製品の表示は、日本語、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）の4言語に対応しています。

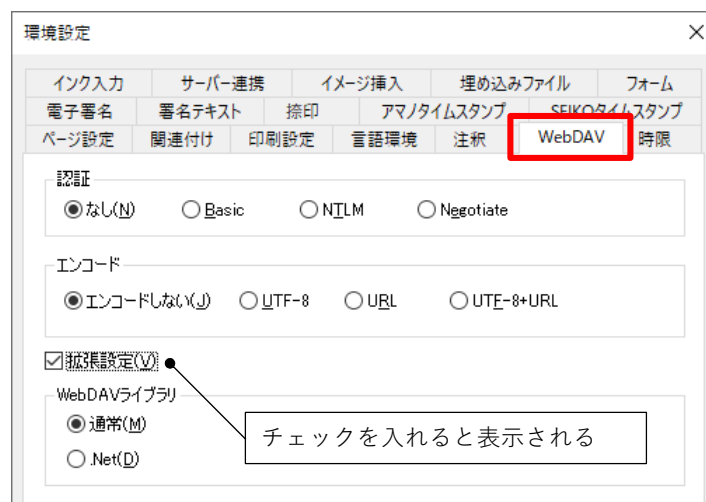
ただし、OSと異なる言語で表示する場合は、その言語の言語パックをあらかじめインストールしておく必要があります。

環境設定での言語の変更は、次回起動以降に反映されます。



3.5 「WebDAV」タブ

環境設定の「WebDAV」タブでは、WebDAV環境で使用する場合の認証方法とエンコード、WebDAVライブラリの種類を設定できます。



3.6 [時限] タブ

環境設定の[時限]タブでは、オンライン時限が設定されたPDFを開くための設定を行います。

環境設定

インク入力	サーバー連携	イメージ挿入	埋め込みファイル	フォーム
電子署名	署名テキスト	捺印	アマノタイムスタンプ	SEIKOタイムスタンプ
ページ設定	関連付け	印刷設定	言語環境	注釈
			WebDAV	時限

ユーザ
ユーザID(U):
パスワード(P):
サーバー
サーバー名(S):
プロキシ
☐ インターネットエクスプローラーに設定されているプロキシ設定を使用する(E)

※ オンライン時限が設定されたPDFとは、当社製品 SkyPDF Web Server のオンライン時限オプションまたは SkyClouz TimerPDF を使用して閲覧制限が設定されたPDFを指します。本製品で時限セキュリティを設定したPDFの閲覧には必要ありません。

※ TimerPDF の場合は [ユーザーID] と [パスワード] のみ入力してください。

3.7 [埋め込みファイル] タブ

環境設定の[埋め込みファイル]タブでは、ナビゲータの添付ファイルタブの表示モードの切り替えが可能です。

環境設定

電子署名	署名テキスト	捺印	アマノタイムスタンプ	SEIKOタイムスタンプ
ページ設定	関連付け	印刷設定	言語環境	注釈
インク入力	サーバー連携	イメージ挿入	埋め込みファイル	フォーム

サムネイルイメージの埋め込み
☐ 埋め込みしない(D) ☒ イメージ自動生成(U)
☐ イメージファイル選択(I) ☐ 埋め込み時に選択(S)
PDFを埋め込む際のサムネイルイメージの拡大率を入力してください。
拡大率(B) % (50%-200% イメージ自動生成時のみ)
添付ファイルタブ表示モード
☒ ファイル情報ツリー表示(E) ☐ サムネイル表示(H)
☒ 表示切替メニューを有効にする(E)

Professional エディションのみ

ファイル情報ツリー表示：

添付ファイルおよび埋め込みファイルのファイル情報をツリー表示する

サムネイル表示：

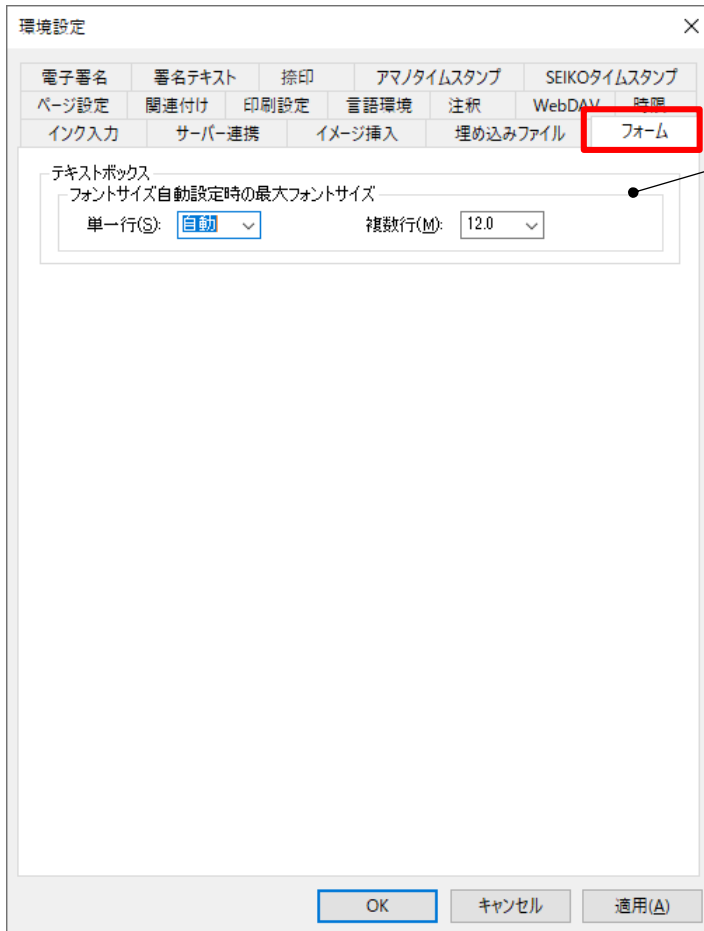
ファイルに埋め込まれたサムネイルイメージを表示する
サムネイルイメージが無い場合はデフォルト画像を表示する

表示切替メニューを有効にする：

[添付ファイル] タブの右クリックメニューから [ツリー表示に切り替え] / [サムネイル表示に切り替え] を選択可能にする

3.8 「フォーム」タブ

環境設定の「フォーム」タブでは、テキストボックスのフォントサイズとして「自動」が設定されている場合に、テキストボックス内に入力したテキストの表示サイズを任意に調整することが可能です。



単一行：

単一行の入力が可能なテキストボックスのフォントサイズ
選択肢から選ぶか、任意の値（1.0～100.0）を入力（デフォルト：自動）

複数行：

複数行の入力が可能なテキストボックスのフォントサイズ
選択肢から選ぶか、任意の値（1.0～100.0）を入力（デフォルト：12.0）

※ 「自動」の場合、フォントサイズはテキストボックスの大きさにあわせて自動調整されます。

※ 本設定は、TAB 表示や MDI 表示で複数 PDF を開いている場合を含め、本製品で開くすべての PDF が対象となります。設定の変更が表示に反映されるタイミングは PDF によって異なります。（例）テキストボックス編集時など

4 ウィンドウの表示

本製品のウィンドウ表示の変更について説明します。

4.1 言語の変更

本製品の表示は、日本語、英語、中国語（繁体字）、中国語（簡体字）の4言語に対応しています。
ただし、OSと異なる言語で表示する場合は、その言語の言語パックをあらかじめインストールしておく必要があります。

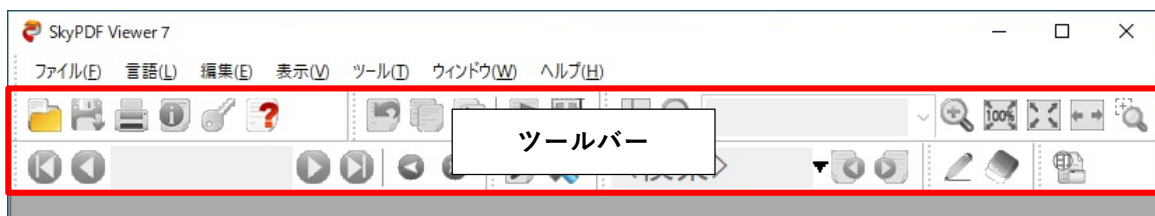
一時的に表示言語を切り替えたい場合は、[言語]メニューから変更します。



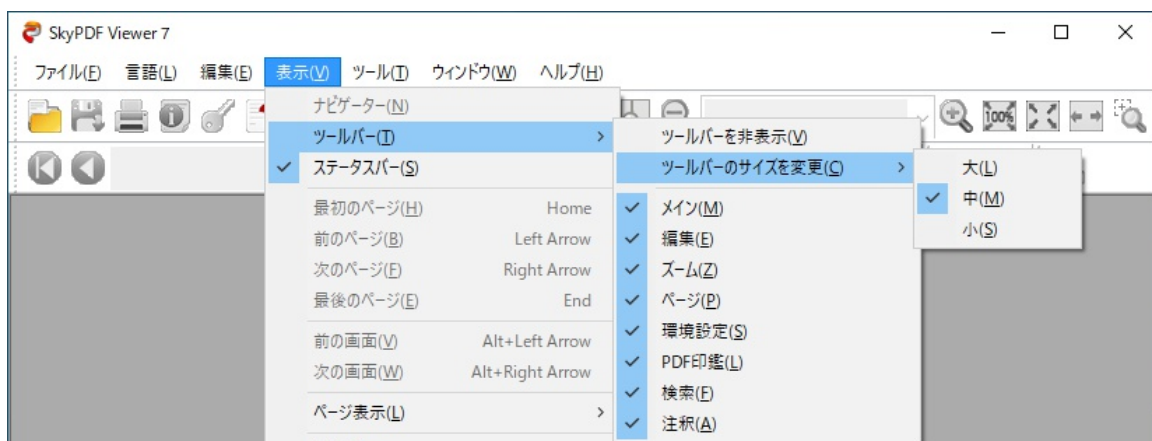
常に異なる言語で表示したい場合は、[環境設定]の[言語環境]タブから変更してください。
(参照：[3.4 \[言語環境\] タブ](#))

4.2 ツールバーの変更

ウィンドウ上部のツールバーには、機能のショートカットアイコンが表示されます。

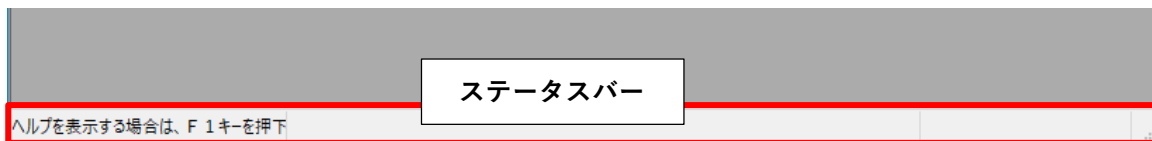


ツールバーの表示やサイズは、[表示]メニューの[ツールバー]からカスタマイズできます。

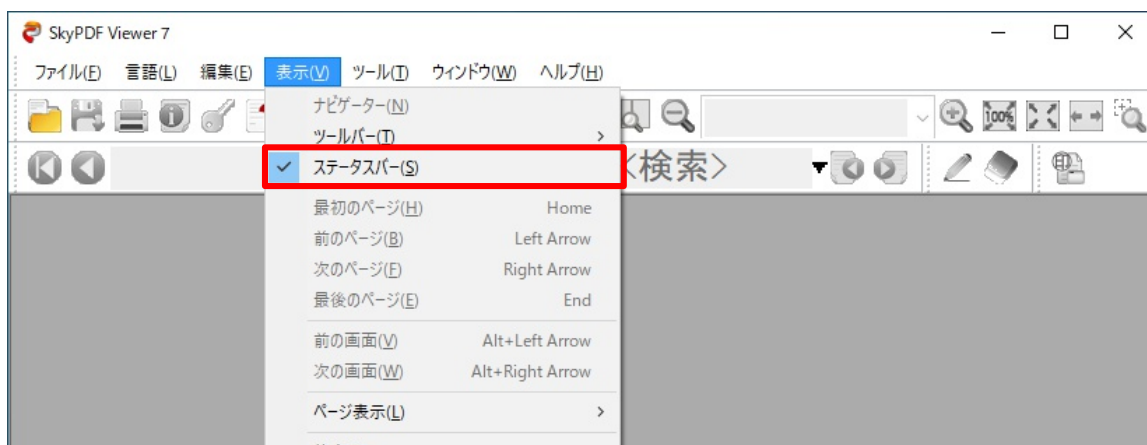


4.3 ステータスバーの変更

ウィンドウ下部のステータスバーには、アプリケーションの現在の状態や、操作に関するメッセージが表示されます。



ステータスバーの表示・非表示は、[表示] メニューの [ステータスバー] で切り替え可能です。




5 ファイル操作

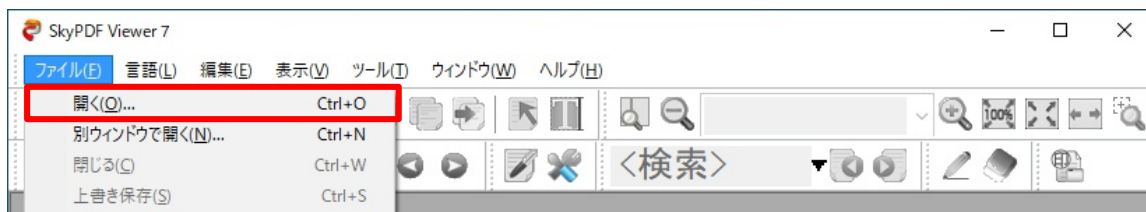
5.1 ファイルを開く

5.1.1 開く

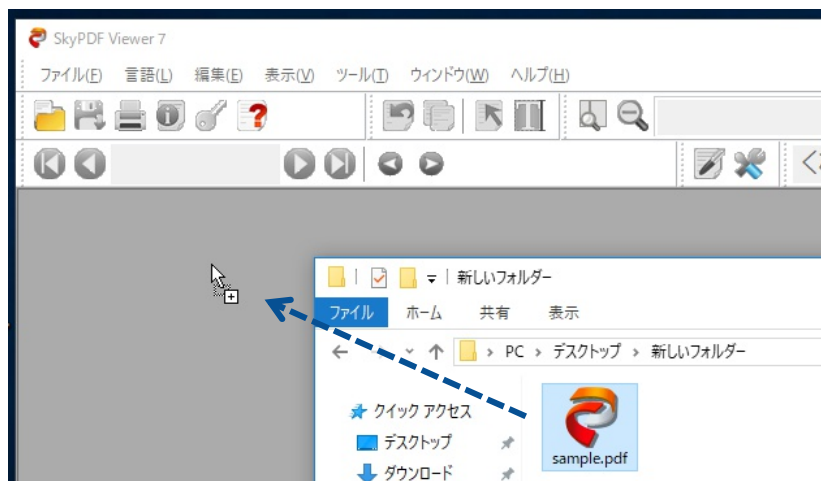
現在開いているウィンドウで PDF を開く方法は複数あります。

 Ctrl + O

- ・ [ファイル] メニューの [開く]




- ・ PDF ファイルを本製品のショートカットアイコンまたはウィンドウ枠内にドラッグ&ドロップ

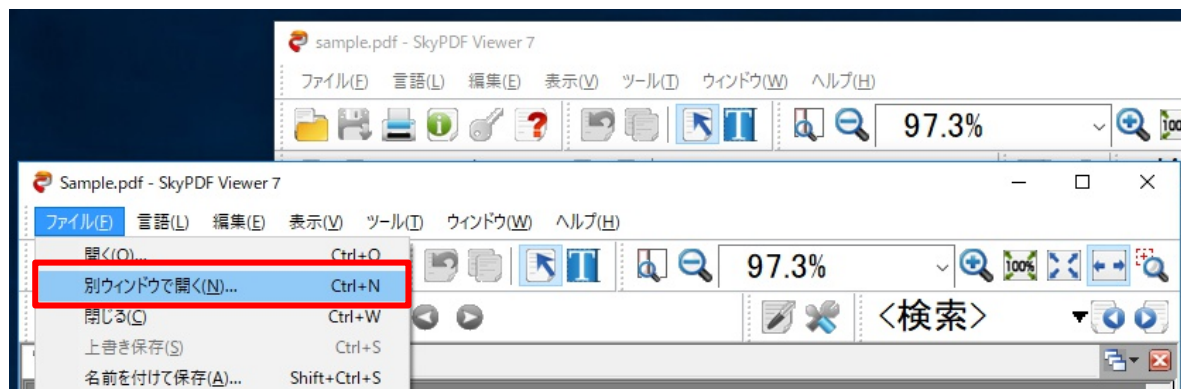


- ・ PDF ファイルを開くアプリとして本製品を関連付け、PDF ファイルをダブルクリック
(参照： [3.2 \[関連付け\] タブ](#))

5.1.2 別ウィンドウで開く

[ファイル] メニューの [別ウィンドウで開く] から PDF を開くと、ウィンドウを複数起動できます。

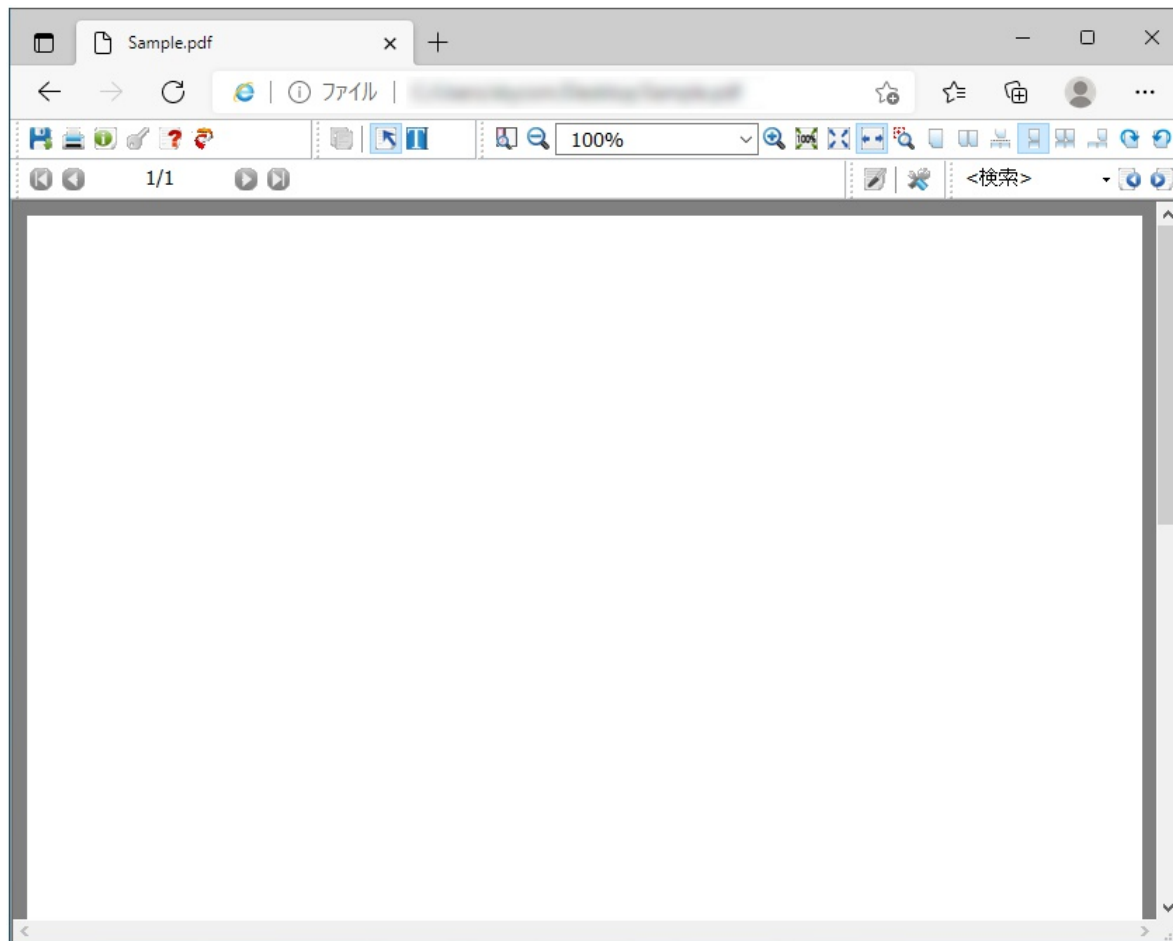
 Ctrl + N



5.1.3 Webブラウザで開く

Microsoft Edge（Internet Explorerモード）でPDFを開くとき、本製品を使用するよう関連付けが設定されている場合、Webブラウザ上で本製品が起動します。

（参照：[3.2](#) [「関連付け」タブ](#)）


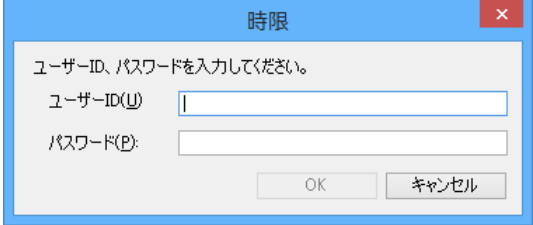
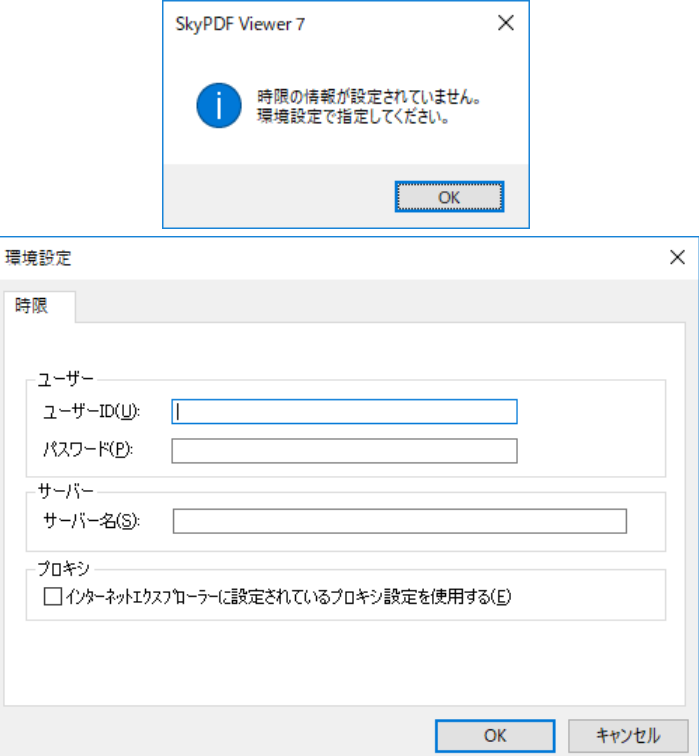


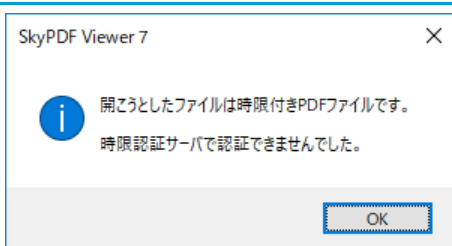
Webブラウザ上で表示したPDFを編集することはできません。

5.1.4 PDFを開くとダイアログが表示される場合

PDFの閲覧に制限がかけられている場合、ファイルを開く時にダイアログが表示されます。
制限の内容によってダイアログが異なりますので、次の表で確認してください。

 <p>パスワード</p> <p>この文書は保護されています。文書を開くパスワードを入力してください。</p> <p>パスワードを入力(P): <input type="password"/></p> <p>OK キャンセル</p>	<p>PDFを開くことができるパスワード（ユーザーパスワード）を入力してください。</p> <p>※ ユーザーパスワードで開くと使用できない機能がある場合はマスタパスワード（オーナーパスワード）によって機能を制限されています。</p> <p>※ マスタパスワードを入力すると管理者権限で開くことができます。</p>
 <p>SkyPDF Viewer 7</p> <p>ファイルのアクティベーションを行います。 アクティベーションされたファイルは、アクティベーションを行ったコンピュータでのみ閲覧する事が出来ます。 続行しますか？</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>ファイルを開くには、[OK]を押してアクティベーションを行ってください。</p> <p>一度アクティベーションを行ったPDFファイルは、アクティベーションを行ったPCおよびユーザーに限り、設定された閲覧期限の間、設定された回数だけ開くことができます。</p> <p>「ファイルのアクティベーションに失敗しました。ファイルを開くことはできません。」と表示された場合は、他のPCおよびユーザーによってアクティベーション済みです。アクティベーション前のファイルを入手してください。</p>
 <p>SkyPDF Viewer 7</p> <p>開いたファイルは時限付きPDFファイルです。</p> <p>閲覧回数：残り1回 閲覧期限：2019年5月23日まで</p> <p>OK</p>	<p>時限付きPDFのアクティベーションを行うと、閲覧制限情報が表示されます。</p> <p>[OK]を押すとPDFが表示されます。</p> <p>閲覧制限情報は、[文書のプロパティ]でも確認できます。</p>
 <p>SkyPDF Viewer 7</p> <p>開こうとしたPDF文書に指定されている閲覧期限を超えています。 開こうとしたPDF文書は削除されます。</p> <p>OK</p>  <p>SkyPDF Viewer 7</p> <p>このPDF文書に設定されている閲覧回数制限に達したためこのPDF文書は削除されます。</p> <p>OK キャンセル</p>	<p>設定された閲覧期限を超えているPDFを開くと確認ダイアログが表示されます。</p> <p>[OK]を押すとPDFは削除されます。</p> <p>閲覧回数を超えたときは、ファイルを閉じるときに確認ダイアログが表示されます。</p> <p>[OK]を押すと削除されます。</p>

	<p>アクティベーション済みの時限付き PDF を、日付が変更された可能性がある PC で開いた場合に表示されます。</p> <p>※ PC の日付を閲覧期限内に変更しても、アクティベーション済みの PDF は開くことはできません。</p>
	<p>ユーザー認証が必要です。 ユーザーID とパスワードを入力してください。</p> <p>※ 不明な場合は、PDF の作成者に問い合わせてください。</p> <p>認証はインターネット回線を介して行われます。 インターネット回線に接続されていない PC では、この PDF を閲覧することはできません。</p> <p>指定された閲覧ユーザーで開いていない場合や、 入力したユーザーID・パスワードが間違っている場合は、 「開こうとしたファイルは時限付き PDF ファイルです。指定のユーザでは閲覧は許可されていません。」 というメッセージが表示されます。</p>
	<p>「環境設定」の「時限」タブに、必要な時限情報が設定されていません。</p> <p>「OK」を押して、ユーザーID とパスワード、サーバー名（時限認証サーバーの URL）を入力してください。</p>



以下の要因で認証に失敗した可能性があります。
確認してください。

- 時限認証サーバーへの接続に失敗している
- PDFを開こうとしているPCがオフラインになっている
- PDFが「非公開」に設定されている
- 時限認証サーバー（TimerPDFサーバー）に登録されていない

※ 必要に応じてPDFの作成者に問い合わせてください。

5.2 ファイルを閉じる

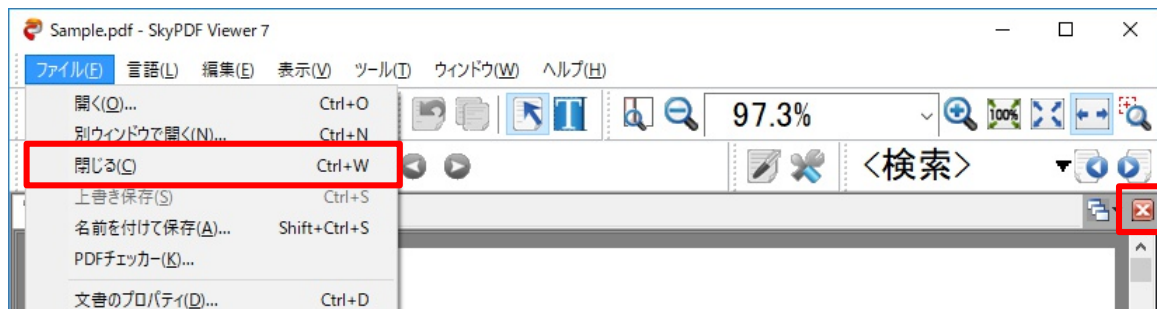
本製品を終了せずに、現在開いている PDF を閉じる方法は複数あります。

5.2.1 閉じる

以下の方法では、開いているファイルを1つずつ閉じることができます。

Ctrl + W

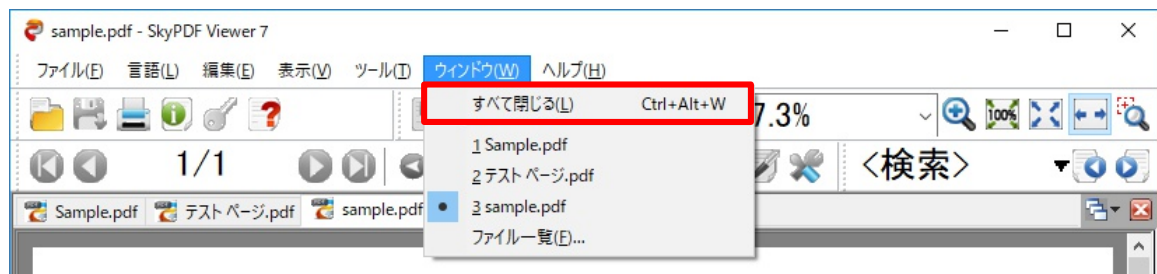
- ・ [ファイル] メニューの [閉じる]
- ・ PDF 表示エリア右上の [×] ボタンをクリック



5.2.2 すべて閉じる

[ウィンドウ] メニューの [すべて閉じる] を実行すると、開いているファイルを一度にすべて閉じることができます。

Ctrl + Alt + W



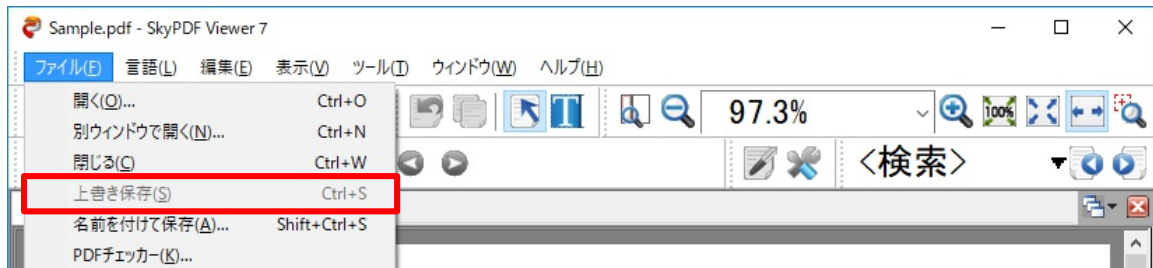
5.3 保存

編集内容の保存方法は複数あります。

5.3.1 上書き保存

[ファイル] メニューの [上書き保存] から PDF を保存できます。

 Ctrl + S

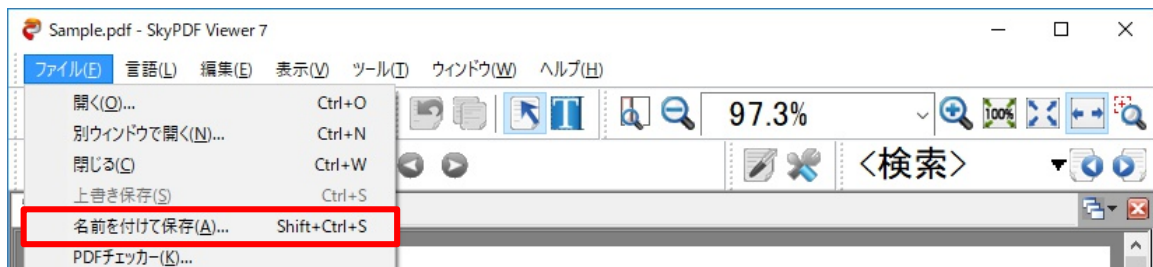


※ 無償版の SkyPDF Viewer は、フォームフィールドへの入力を除き、PDF を編集することはできません。
フォームフィールドへの入力を行った場合のみ [上書き保存] が可能です。

5.3.2 名前を付けて保存

[ファイル] メニューの [名前を付けて保存] から、PDFを別名保存できます。

Shift + Ctrl + S

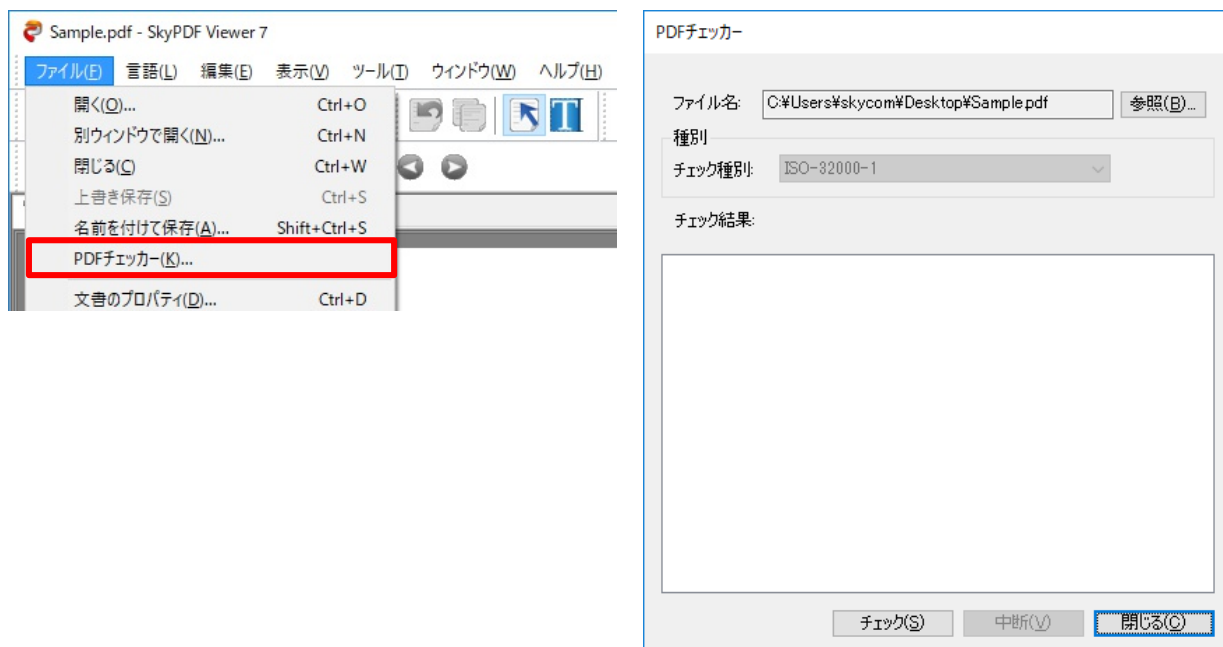


5.4 PDF チェッカー

［ファイル］メニューから［PDF チェッカー］を起動すると、PDF が ISO32000-1 の規格※に準拠しているかどうかチェックできます。

PDF がオープンできない場合など、エラーの原因を確認することができます。

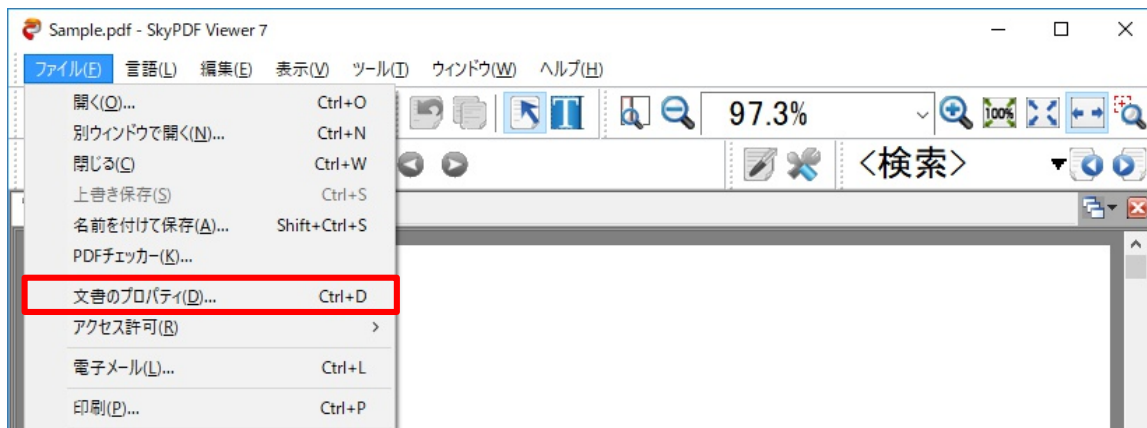
※ ISO32000-2 には未対応です。



5.5 文書のプロパティ

PDF の文書情報は、[ファイル] メニューから [文書のプロパティ] を開くと、開いている PDF のプロパティを確認できます。

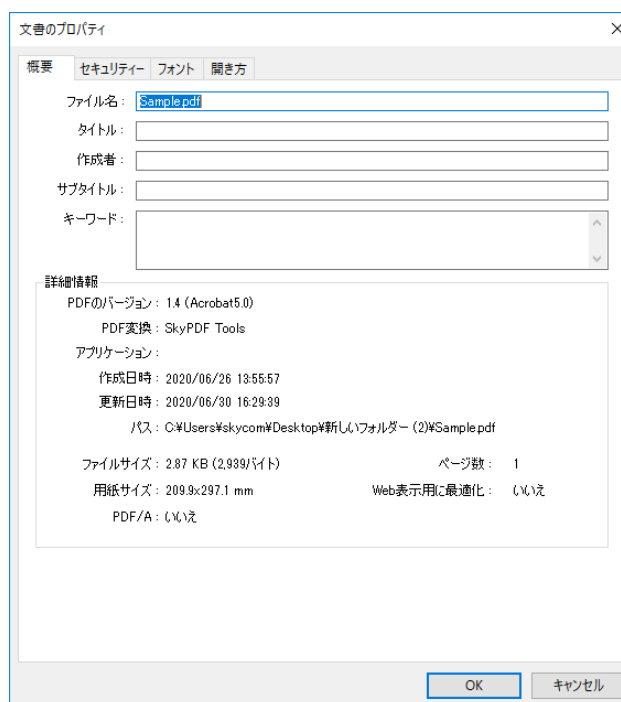
 Ctrl + D



[概要] タブ

PDF の文書情報が表示されます。

- ※ PDF の編集が可能な製品エディションであれば編集可能です。



[セキュリティ] タブ

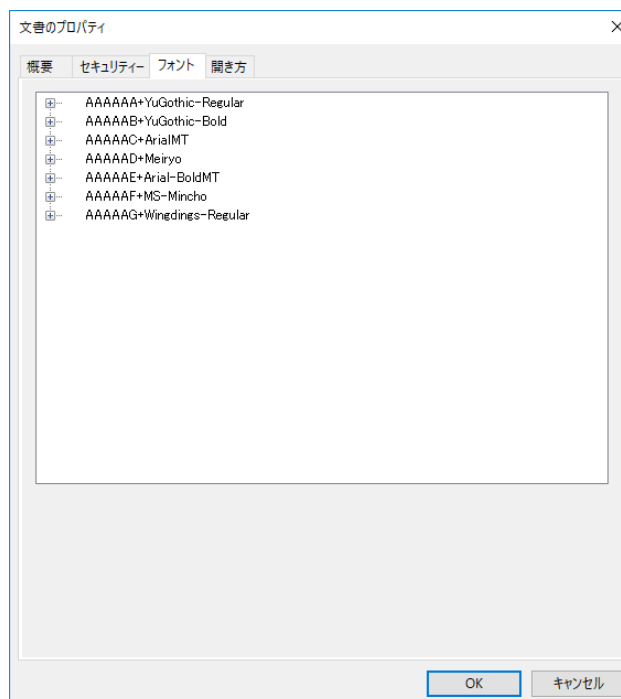
現在表示している PDF にパスワードや電子署名 (PKI) によるセキュリティが設定されている場合、そのセキュリティ設定情報を確認できます。

- ※ PDF の編集が可能な製品エディションであれば編集可能です。



[フォント] タブ

現在表示している PDF に埋め込まれているフォントの情報を表示します。



〔開き方〕 タブ

PDF に対し、PDF を開いたときの表示倍率やレイアウトを設定できます。

- ※ PDF の編集が可能な製品エディションでのみ表示され、編集できます。



5.6 電子メール

〔ファイル〕メニューの〔電子メール〕から、現在表示している PDF を添付ファイルとして、電子メールを作成することができます。

Ctrl + L

5.7 印刷

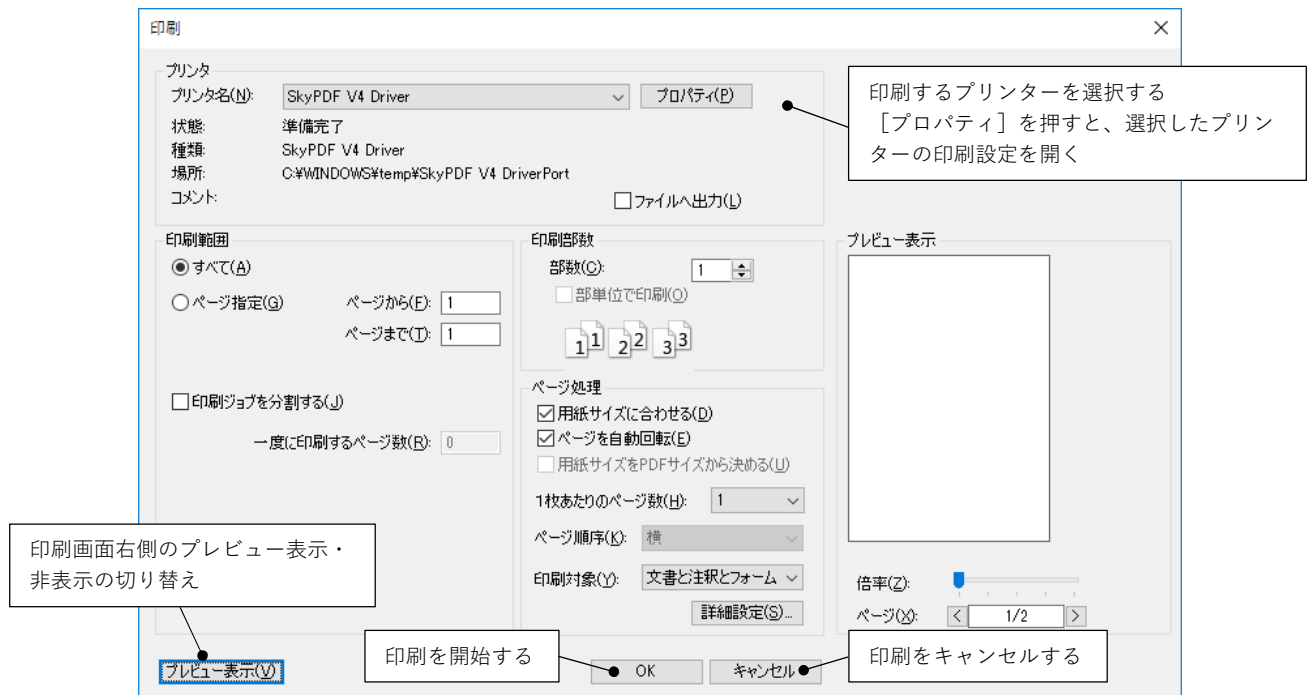
5.7.1 印刷の設定と実行

[ファイル] メニューの [印刷] から、現在表示している PDF をプリンターに出
力できます。[OK] を押すと印刷を開始します。

 Ctrl + P

印刷モード、印刷品質（レンダリング解像度）、印刷位置については、必要に応じ
て事前に [環境設定] から設定してください。（参照：[3.3 \[印刷設定\] タブ](#)）

※ PDF に印刷の初期設定情報（ビュープレファレンス）が埋め込まれていても、一部の設定には適用されませ
ん。必要に応じて手動で設定してください。



カテゴリ	項目	説明
印刷範囲	すべて	すべてのページを印刷する
	ページ指定	指定したページを印刷する
	印刷ジョブを分割する	印刷ジョブを複数回に分けたい場合、ジョブ1件あたり何ページ印刷するか指定する
印刷部数	部数	印刷部数を指定する
	部単位で印刷	複数ページを2部以上印刷する場合は部単位で印刷できる
ページ処理	用紙サイズに合わせる	PDF 内容を用紙サイズに合わせて拡大・縮小して印刷する PDF 作成者の意図または作成したアプリによって拡大・縮小を許可しない場合がある
	ページ自動回転	プリンターの設定を無視して、PDF のページサイズから用紙の向きを自動回転する
	用紙サイズを PDF サイズから決める	プリンターの設定を無視して、PDF のページサイズから用紙サイズを自動選択する
	1 枚あたりのページ数	1 ページに収めるページ数 (N-UP 印刷)
	ページ順序	N-UP 印刷時の書くページの配置順序
	印刷対象	参照： 5.7.2 印刷対象

5.7.2 印刷対象

印刷対象を「文書のみ」「文書と注釈」「文書とフォーム」「文書と注釈とフォーム」の4種類から選択できます。

また、「詳細設定」を押すと、印刷対象とする注釈の種類とフォームの種類を、より詳細に選択できます。注釈とフォームは、チェックボックスをONにすると印刷し、OFFにすると印刷されません。

※ 本機能は、印刷対象となる外観データをファイル内に持つ注釈とフォームに対してのみ、制御が可能です。外観データを持たない注釈とフォームは、本機能の有効・無効を問わず印刷できません。



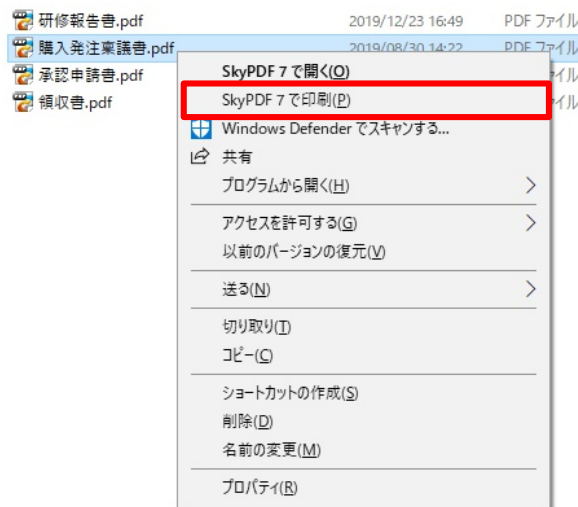
注釈・フォーム自体に「印刷しない」という属性が設定されていても無視して印刷する

カテゴリ	項目	説明
注釈	テキスト	ナビゲータの「注釈」タブで「Text」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「メモ追加」で追加できます。
	リンク	クリックすると指定ページや指定 URL にジャンプする注釈 ※ Professional エディションで追加したリンクは、印刷対象となる外観データをファイル内に持たないため本機能の有効・無効を問わず印刷されません。当社製品以外で追加したリンクが外観データを持つ場合は、本機能により制御できます。
	フリーテキスト	ナビゲータの「注釈」タブで「Free Text」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「フリーテキスト」で追加できます。
	線	ナビゲータの「注釈」タブで「Line」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「線ツール」で追加できます。
	長方形	ナビゲータの「注釈」タブで「Square」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「長方形ツール」で追加できます。
	楕円	ナビゲータの「注釈」タブで「Circle」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「楕円ツール」で追加できます。
	ポリゴン	ナビゲータの「注釈」タブで「Polygon」と表示される注釈 ※ 本製品では未対応のため追加できません。
	ポリライン	ナビゲータの「注釈」タブで「PolyLine」と表示される注釈 ※ 本製品では未対応のため追加できません。

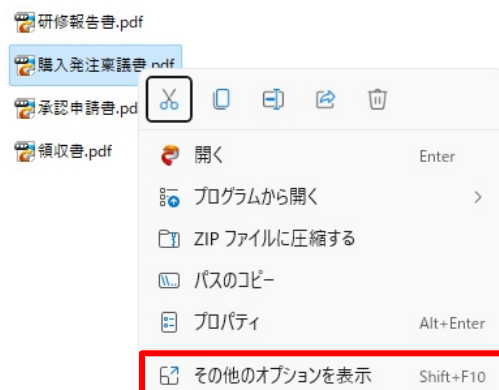
マーカー	ナビゲータの「注釈」タブで「Highlight」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「テキスト装飾」の「マーカー」で追加できます。	
アンダーライン	ナビゲータの「注釈」タブで「Underline」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「テキスト装飾」の「アンダーライン」で追加できます。	
波線	ナビゲータの「注釈」タブで「Squiggly」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「テキスト装飾」の「波線」で追加できます。	
取消線	ナビゲータの「注釈」タブで「StrikeOut」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「テキスト装飾」の「取り消し線」で追加できます。	
スタンプ	ナビゲータの「注釈」タブで「Stamp」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「スタンプ」で追加できます。	
キャレット	カーソルの位置にテキストを挿入した注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
インク	ナビゲータの「注釈」タブでは「Ink」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「鉛筆ツール」で追加できます。 ※ インク入力で追加するサインとは異なるものです。	
ファイル添付	ナビゲータの「添付ファイル」タブで、「タイプ：添付ファイル注釈」と表示される注釈 ※ Professional エディションでは「ファイル添付」で追加できます。	
サウンド	音声ファイルを挿入した注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
ムービー	動画ファイルを挿入した注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
スクリーン	メディアクリップを再生する注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
プリンターマーク	レジストレーションマーク、カラーバー、トンボのような図記号の注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
トラップネット	印刷時に色はずれるのを回避するため隣接する色の境界に沿って作成したオーバーラップ部分の定義に関する注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
3D	3D データを挿入した注釈 ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。	
リッチメディア	サウンドまたはビデオを挿入したリッチメディア注釈 ※ SkyPDF SmartWorker を使って追加できます。	
その他	上記以外の注釈	
フォーム	テキストボックス	文字や数字などを入力するためのフォーム
	リストボックス	選択肢の一覧から複数選択するためのフォーム
	コンボボックス	選択肢の一覧から 1 つを選択するためのフォーム
	プッシュボタン	設定されたアクションを実行するためのフォーム
	チェックボックス	個々に ON または OFF の状態を持つフォーム
	ラジオボタン	個々に ON または OFF の状態を持ち、グループ化可能なフォーム
	署名	電子署名を追加するためのフォーム ※ 本製品では未対応のため追加・編集できません。
	その他	上記以外のフォーム

5.7.3 右クリック印刷

印刷したいPDFを選択（複数選択可）し、右クリックメニューから「SkyPDF 7で印刷」を実行することでも、PDFの印刷は可能です。



Windows 11の場合、右クリックメニューに「SkyPDF 7で印刷」を表示するには、「その他のオプションを表示」を選択する必要があります。



右クリック印刷の場合、前回の印刷実行時の設定（参照：[5.7.1 印刷の設定と実行](#)）を引き継ぎますが、一部の設定は固定となり変更しても反映されません。

印刷設定	右クリック印刷時
プリンター	「通常使うプリンターに設定」されているプリンター
印刷範囲	全ページ（固定）
部数	1部（固定）
用紙サイズを合わせる	前回の印刷実行時の設定
ページを自動回転	前回の印刷実行時の設定
用紙サイズを PDF サイズから決める	前回の印刷実行時の設定
1枚あたりのページ数	1ページ（固定）
ページ順序	「1枚あたりのページ数」が1ページ固定のため無効
印刷対象	前回の印刷実行時の設定
詳細設定	前回の印刷実行時の設定

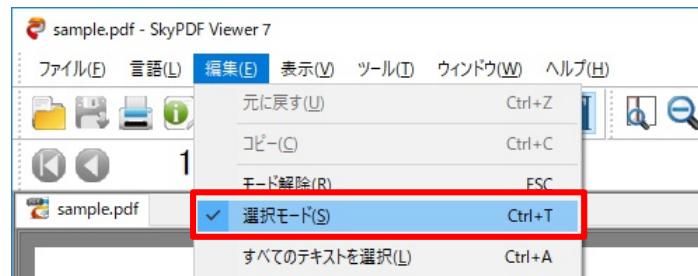
「環境設定」の「印刷設定」タブで設定する印刷モード、印刷品質（レンダリング解像度）、印刷位置については、印刷時点の設定がすべて適用されます。（参照：[3.3 「印刷設定」タブ](#)）

6 ファイル内容の閲覧

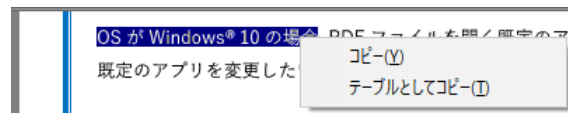
6.1 選択モード

〔編集〕メニューから〔選択モード〕を選択すると、PDF のテキストや画像を選択できます。

 Ctrl + T

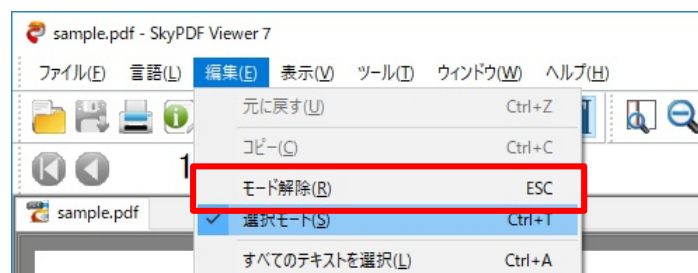


テキストや画像を選択すると、右クリックメニューからコピーや保存、製品エディションによってはテキスト装飾などの編集が可能となります。



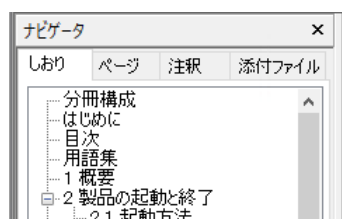
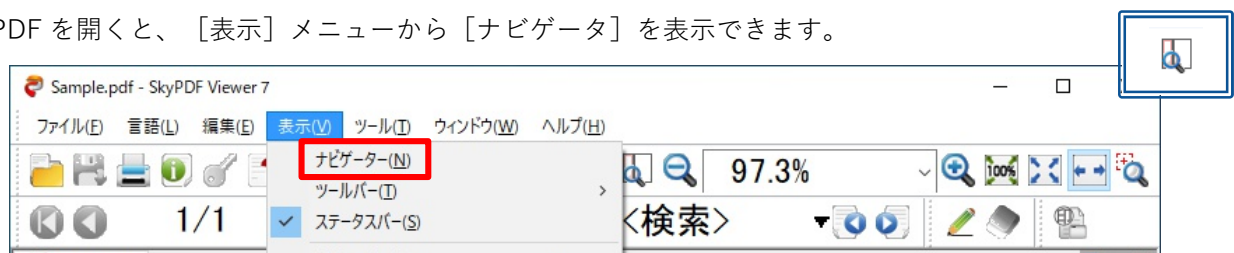
〔モード解除〕で通常のモードに戻ります。

 Esc



6.2 ナビゲータ

PDF を開くと、〔表示〕メニューから〔ナビゲータ〕を表示できます。



ナビゲータの主な機能

- | | |
|--------|------------------------------|
| しおり | : 各見出しへのリンク |
| ページ | : ページのサムネイル表示 |
| 注釈 | : PDF に追加されている注釈の情報 |
| 添付ファイル | : PDF に埋め込みまたは添付されているファイルの情報 |

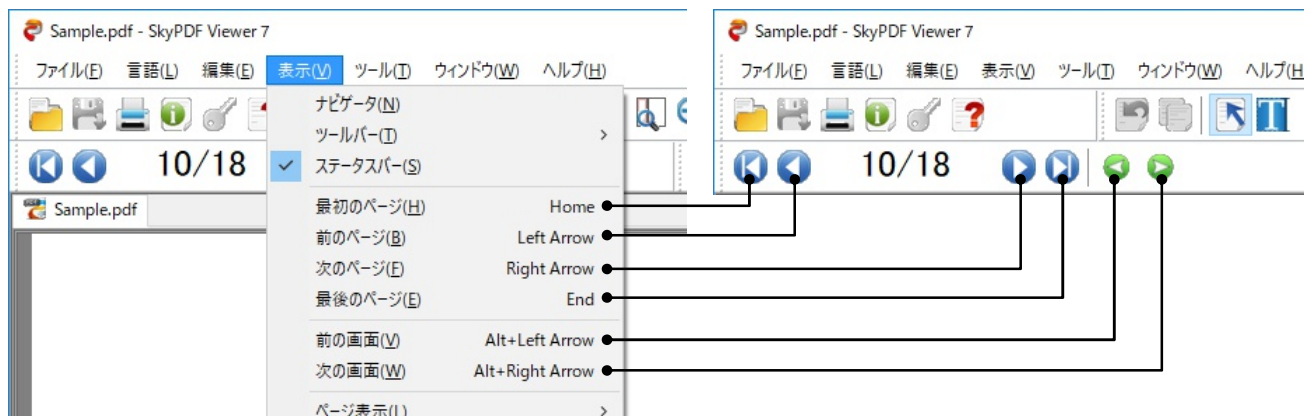
6.3 検索

ツールバーの検索窓 **<検索>** で、テキストのファイル内検索が可能です。

Ctrl + F

6.4 ページ移動

マウスやキーボードによるスクロールバーの操作の他にも、[表示]メニューやツールバーからもページ移動が可能です。



最初のページ

PDF全体の最初のページを表示する

Home

前のページ

現在のページの前のページを表示する

Left Arrow

次のページ

現在のページの次のページを表示する

Right Arrow

最後のページ

PDF全体の最後のページを表示する

End

前の画面

現在のページを表示する前に表示していたページに戻る
目次などのリンクやしおりを使ってページ移動した場合に有用

Alt + Left Arrow

次の画面

[前の画面] 実行前に表示していたページに戻る

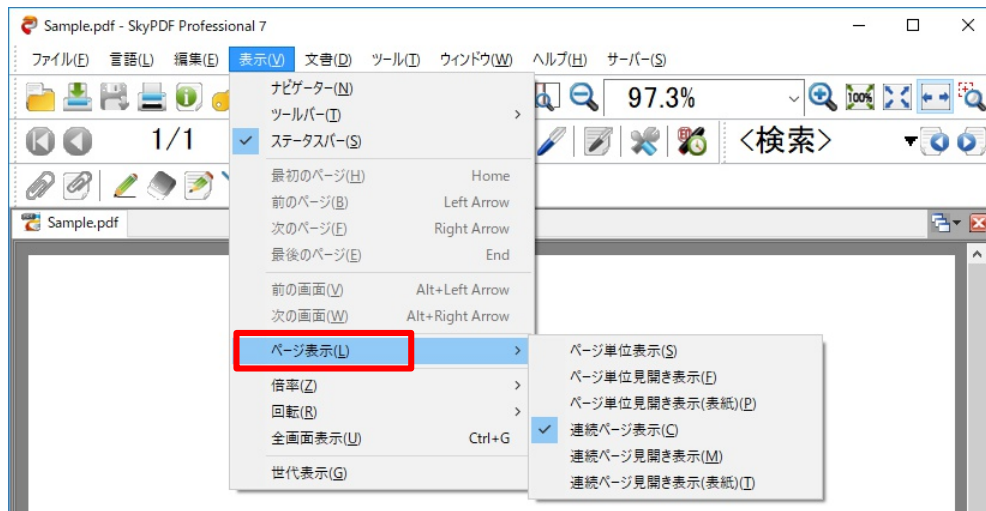
Alt + Right Arrow

現在のページ数 / 総ページ数

現在表示しているページのページ数が分かる
キーボード入力で指定ページへ移動可能

6.5 ページ表示の変更

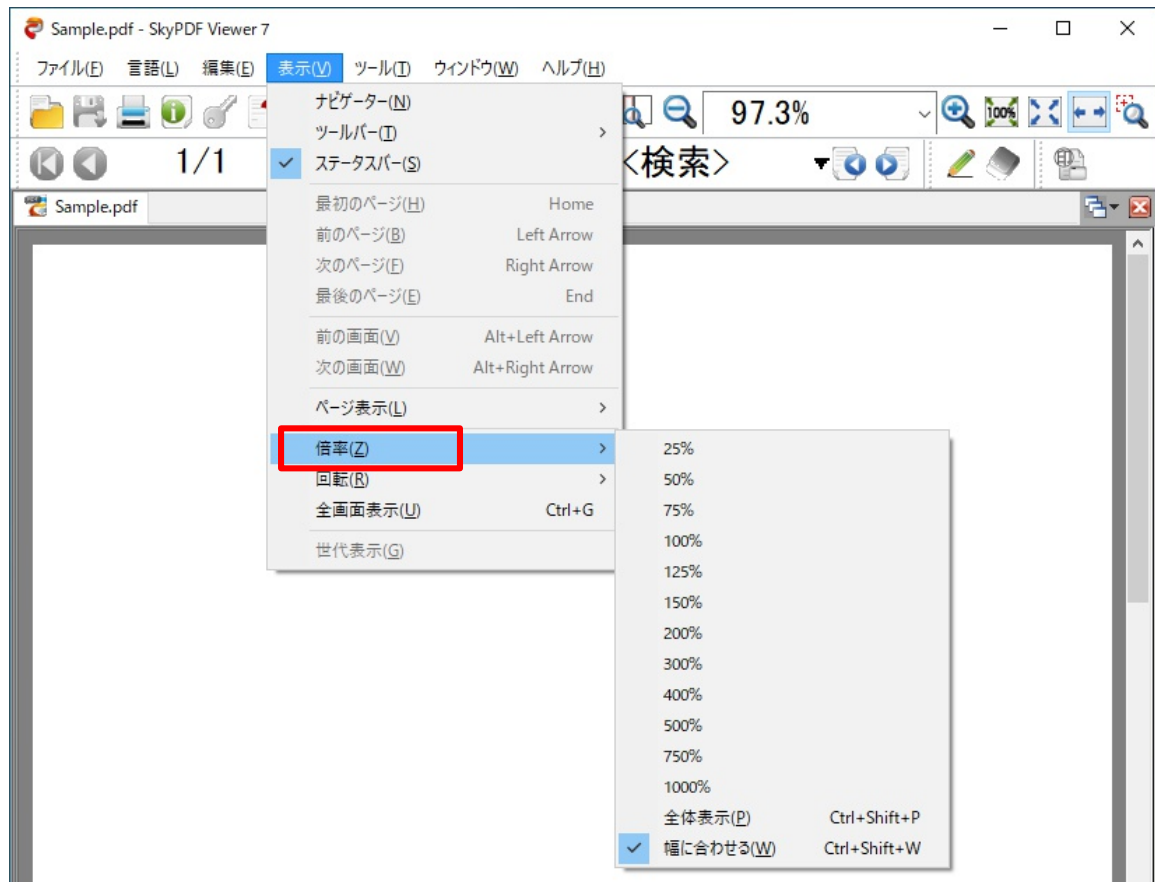
〔表示〕メニューの〔ページ表示〕から、現在開いている PDF の表示レイアウトを変更できます。



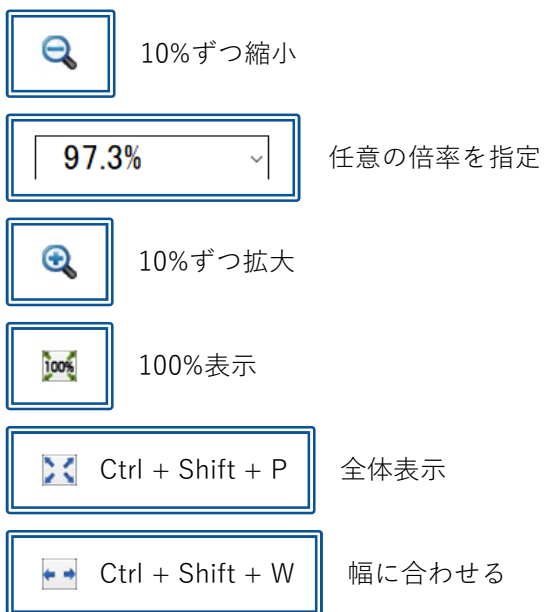
項目	説明	
ページ単位表示	1 ページずつ表示する	
ページ単位見開き表示	2 ページずつ表示する	
ページ単位見開き表示(表紙)	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ表示する	
連続ページ表示	1 ページずつ連続して表示する	
連続ページ見開き表示	2 ページずつ連続して表示する	
連続ページ見開き表示(表紙)	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ連続して表示する	

6.6 表示倍率の変更

[表示] メニューの [倍率] から、現在開いている PDF の表示倍率を変更できます。

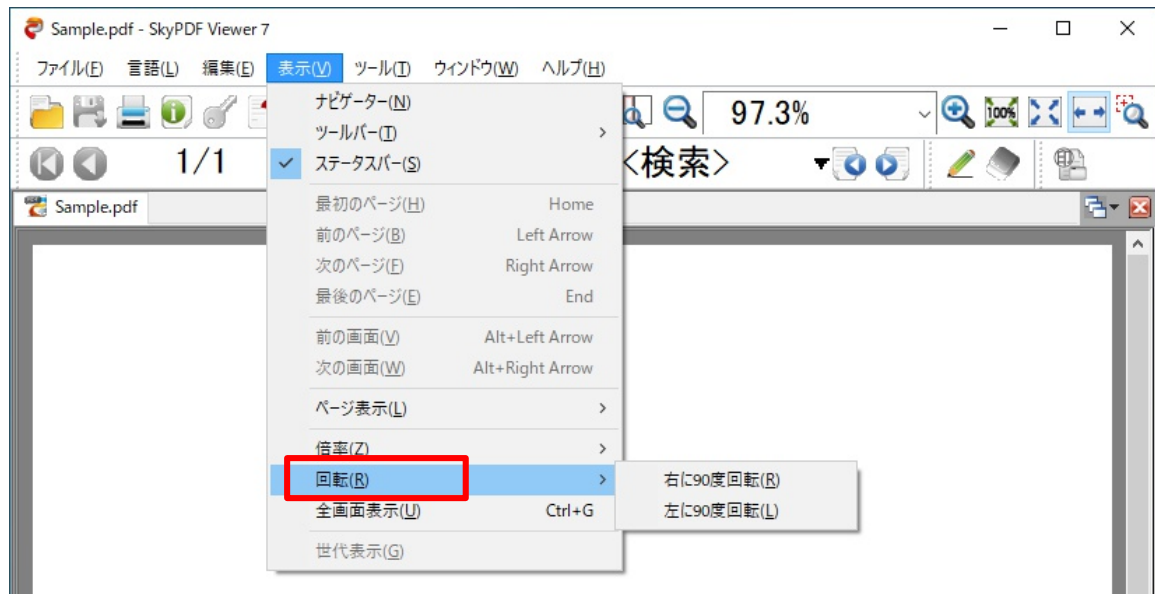


ツールバーからも倍率を変更できます。



6.7 表示の回転

[表示] メニューの [回転] から、現在開いている PDF の表示を回転できます。



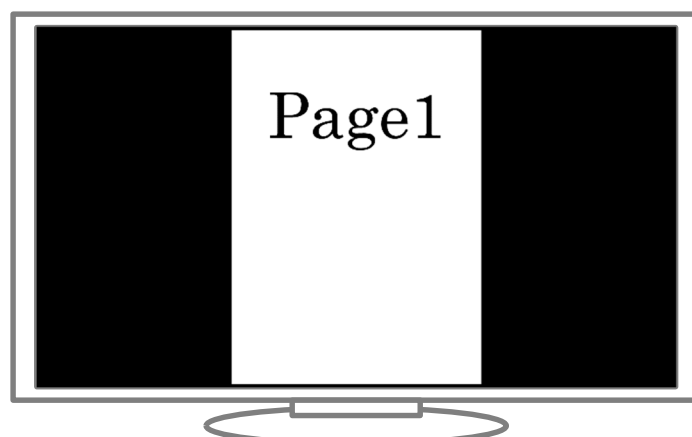
- ※ [表示] メニューから行う [回転] は、現在のページの表示状態を回転するものです。回転を保存したい場合は、PDF の編集が可能な製品エディションで [文書] メニューから回転を行う必要があります。
- ※ [表示] メニューから [回転] を行った PDF に対し、注釈や署名、捺印などの編集を行うと、意図した位置や向きと異なる結果となる場合があります。回転した PDF に対し編集を行う場合は、PDF の編集が可能な製品エディションで [文書] メニューから回転してください。

6.8 全画面表示

全体表示

[表示] メニューの [全画面表示] で、ディスプレイ画面全体に PDF を表示します。

Ctrl + G



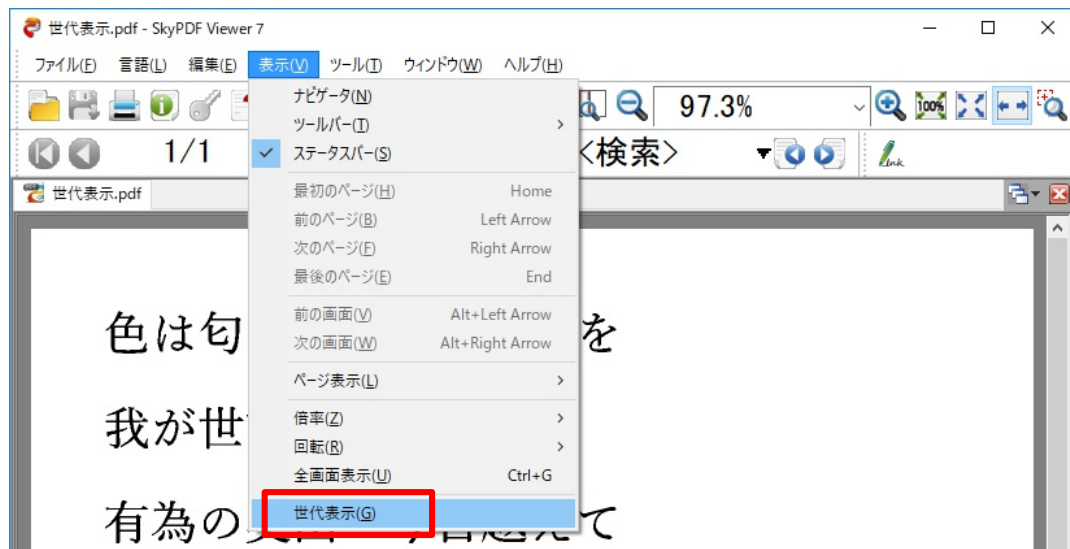
全体表示の終了

キーボードの [Esc] キー、または、[Ctrl] + [G] キーを押すと、
全画面表示を終了します。

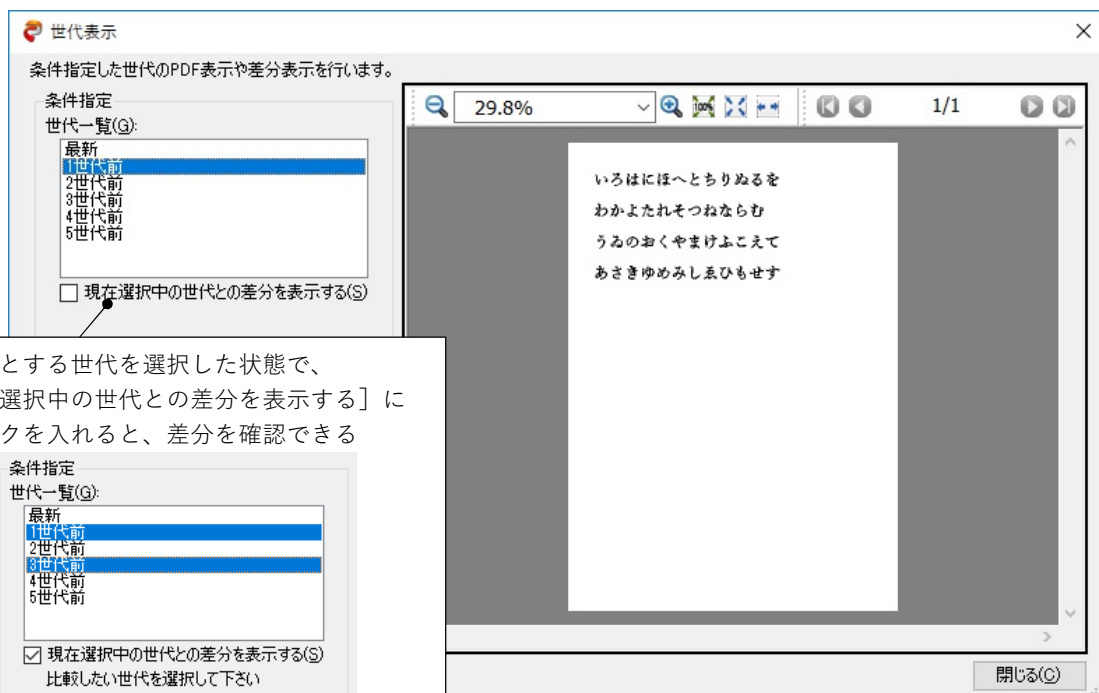
Esc / Ctrl + G

6.9 世代表示

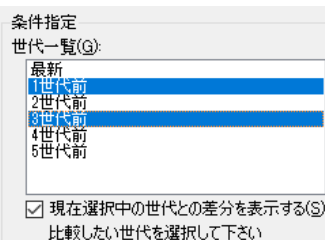
「表示」メニューの「世代表示」から、現在開いている PDF の世代を遡って表示の変遷を確認することや、世代の差分を確認することができます。



世代は、その PDF が変更され保存（増分更新）されるたびに更新されます。
現在の状態を「最新」とし、「1 世代前、2 世代前、3 世代前……」と遡って表示することができます。



比較元とする世代を選択した状態で、
「現在選択中の世代との差分を表示する」に
チェックを入れると、差分を確認できる

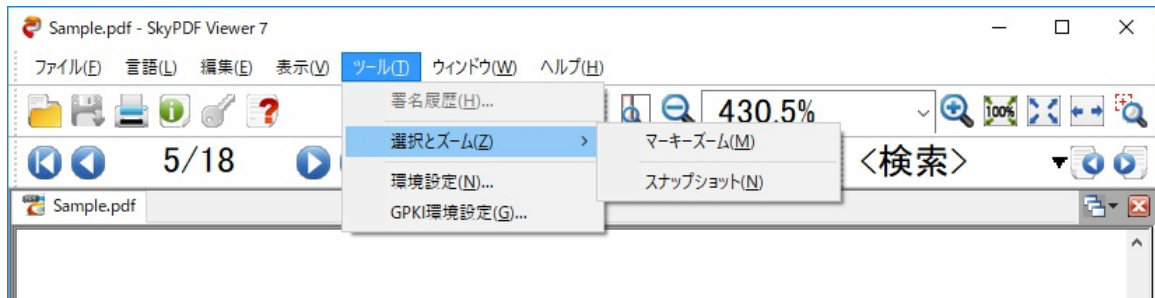


ただし、以下のような PDF は世代表示できません。

- ・ 時限セキュリティが設定された PDF
- ・ RMS セキュリティが設定された PDF
- ・ サーバー連携機能を使って閲覧している PDF

6.10 選択とズーム

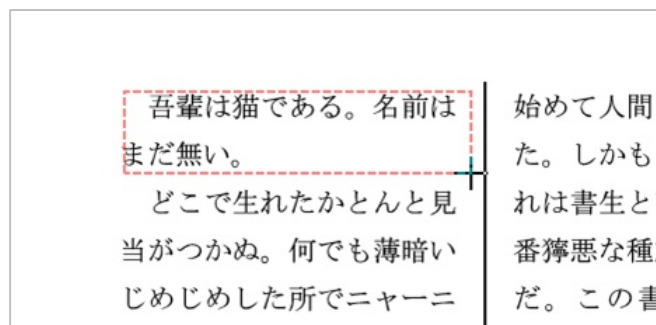
「ツール」メニューの「選択とズーム」から、「マーキーズーム」と「スナップショット」が使用できます。



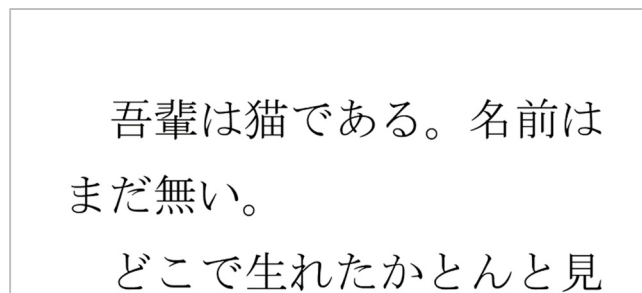
6.10.1 マーキーズーム

「マーキーズーム」は、マウスで範囲指定した領域を拡大表示する機能です。

1. 「ツール」－「選択とズーム」－「マーキーズーム」を選択します。
2. 拡大したい箇所をマウスドラッグで選択します。



3. ドラッグを終了すると、選択した領域を中心にして拡大表示されます。

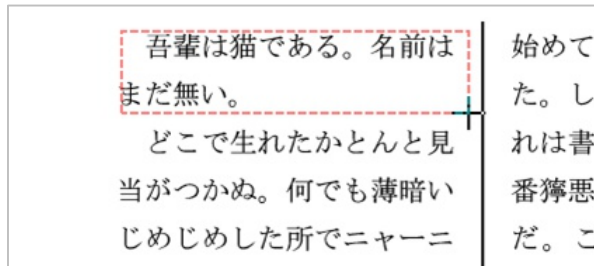


6.10.2 スナップショット

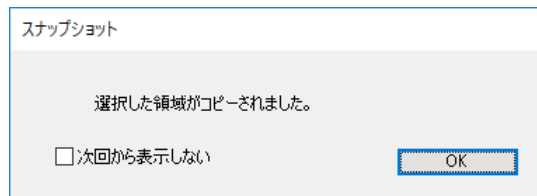
「スナップショット」は、選択範囲を画像としてコピーする機能です。

選択範囲をコピーする

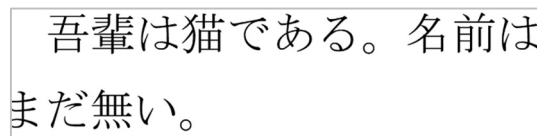
1. 「ツール」－「選択とズーム」－「スナップショット」を選択します。
2. コピーしたい箇所をマウストラッグで範囲選択します。



3. ドラッグを終了すると、選択範囲を画像としてコピーされます。
コピー完了のダイアログが表示されるので、「OK」を押して閉じます。



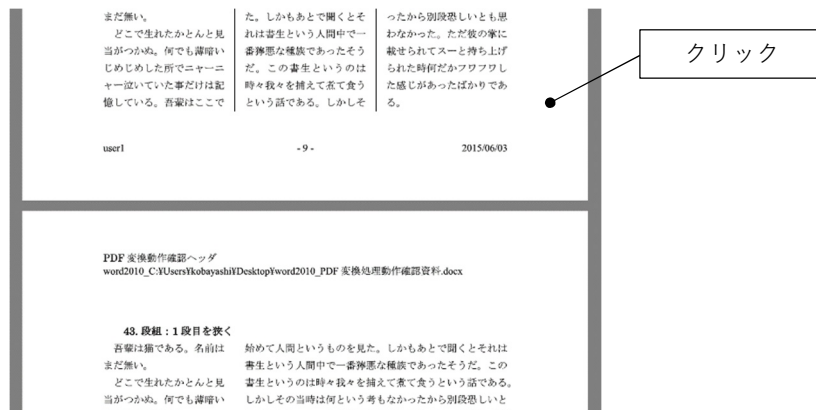
4. 本製品または他アプリケーションで任意の位置に「貼り付け」てください。



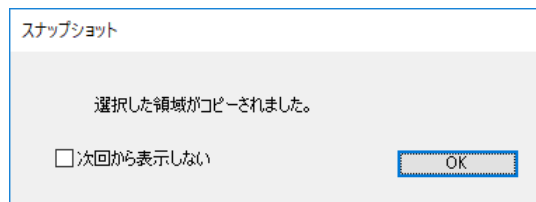
表示エリアをコピーする

1. 「ツール」－「選択とズーム」－「スナップショット」を選択します。
2. コピーしたいPDF表示エリアをクリックします。

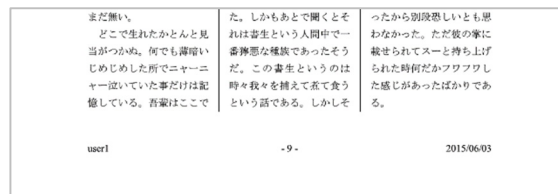
※ ページをまたいでコピーすることはできません。



3. コピー完了のダイアログが表示されるので、[OK] を押して閉じます。



4. 本製品または他アプリケーションで任意の位置に [貼り付け] てください。



6.11 サウンド・ビデオの再生

PDF表示エリア上に次のようなアイコンが表示されている場合、当社製品SkyPDF SmartWorkerを使ってリッチメディア（サウンドまたはビデオ）が埋め込まれています。

アイコンのダブルクリック、または、右クリックメニューから再生できます。

サウンド

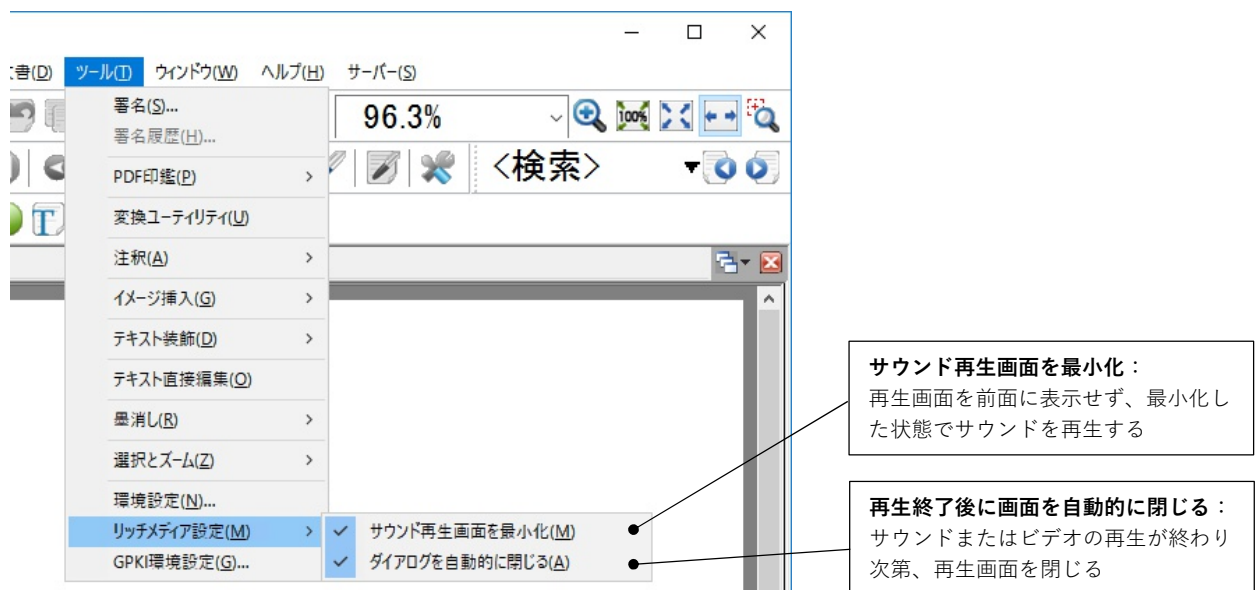


ビデオ



また、[ツール] - [リッチメディア設定] から、以下の設定の有効・無効を設定できます。

※ SmartWorkerオプション利用時は [ツール] - [リッチメディア] - [再生設定] から設定できます。



※ アイコンは、色が異なる可能性があります。

※ リッチメディアの再生には、Windows Media Playerが必要です。通常、Windowsの機能としてOSに付属しています。

6.12 タッチで操作する（タッチ操作可の端末のみ）

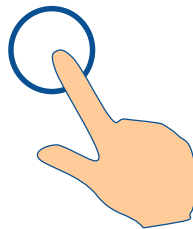
タッチスクリーンの PC やタブレット端末で、マウスを使用せずに本製品を使用する場合に、表示中の PDF ファイルをタッチで操作できる機能です。

サポートされている操作とマウス操作の対応は以下のとおりです。

タッチ操作	マウス操作
タップ	左クリック
ダブルタップ	ダブルクリック
長押し	右クリック
スワイプ	スクロールホイール
ピンチ	[Ctrl] キー+スクロールホイール

6.12.1 ページ移動（タップ）

表示中の PDF ファイル内で指定領域を**タップ**すると、ページ移動ができます。

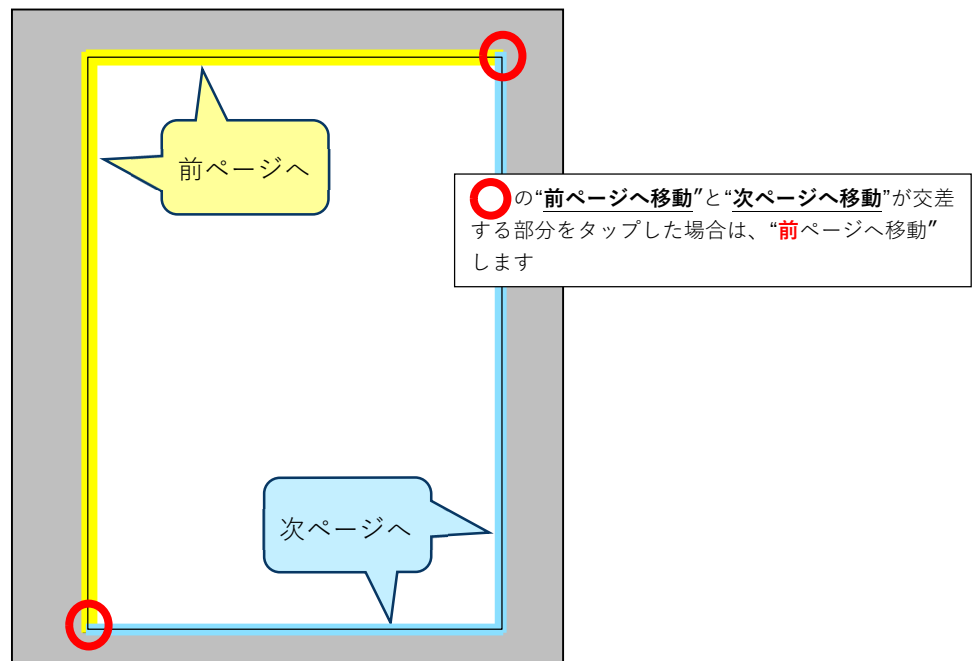


1. 使用条件

- ページ表示状態 : ページ単位表示かつ全体表示
- カーソル状態 : 通常モード（注釈機能等を選択していない状態）
- タッチポイント : 1 点

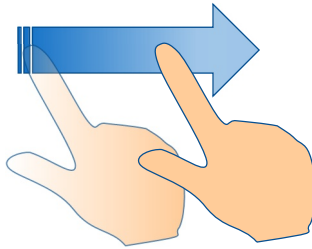
2. 有効範囲

表示中の PDF ファイルの上下端および左右端



6.12.2 ページ移動（スワイプ）

表示中の PDF ファイル上を**スワイプ**すると、ページ移動ができます。



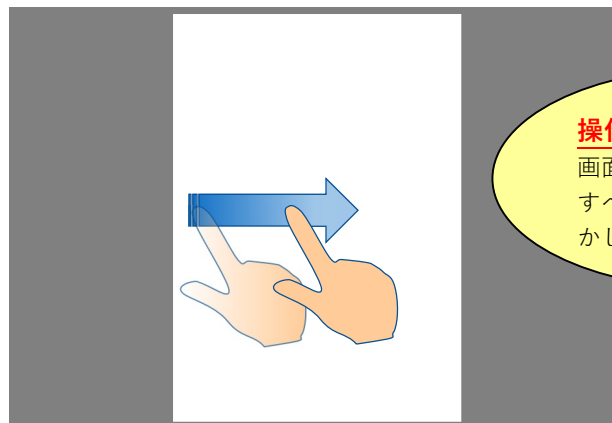
1. 使用条件

- ページ表示 : ページ単位表示
- カーソル状態 : 通常モード
- タッチポイント : 1 点

2. 有効範囲

ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外も有効）

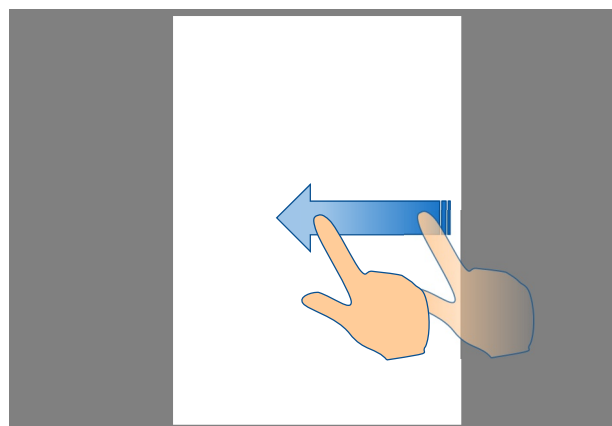
（1）右方向へスワイプ操作：前のページへ移動



操作のコツ

画面を押さえ続けずに、
すべらせるように指を動かします

（2）左方向へスワイプ操作：次のページへ移動



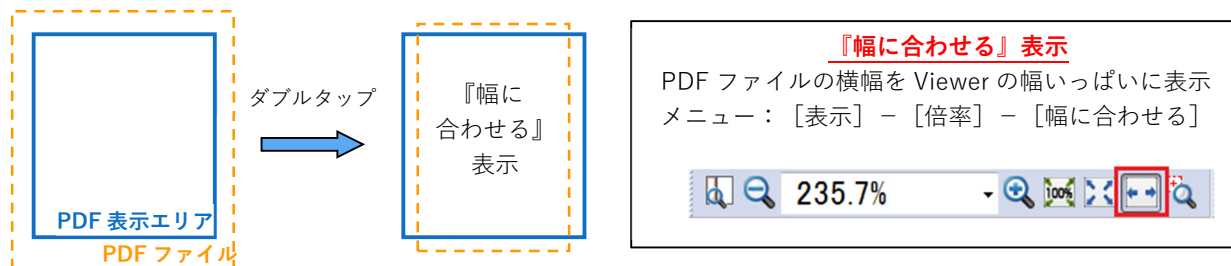
6.12.3 ページの拡大表示（ダブルタップ）

表示中の PDF ファイルを**ダブルタップ**すると、ページを拡大表示できます。

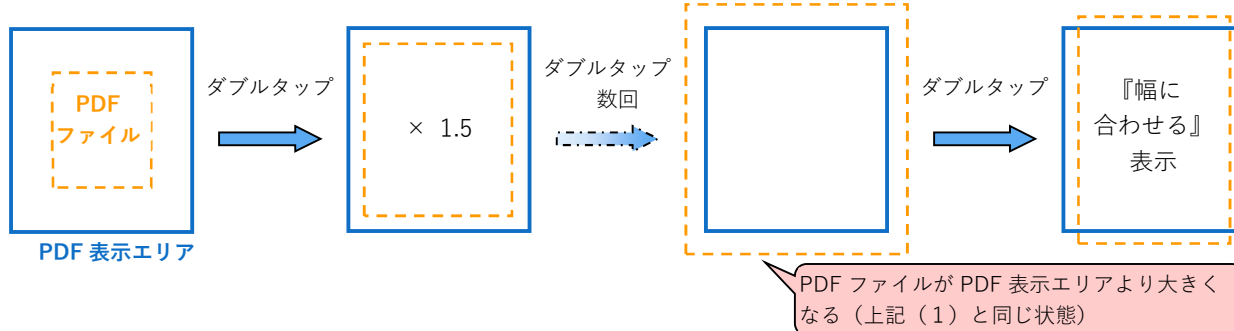


1. 使用条件
なし
2. 有効範囲
表示中の PDF ファイル上（エリア外では機能しない）

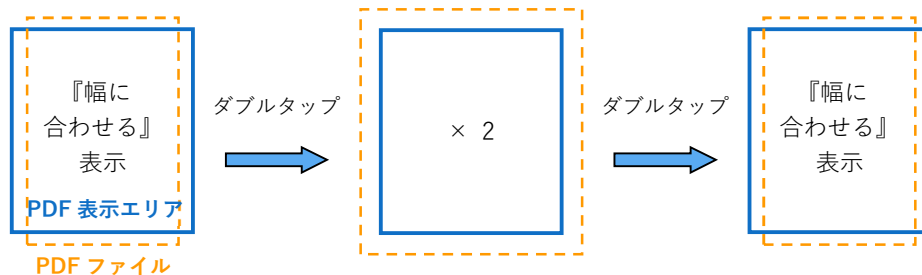
3. 拡大率
(1) PDF 表示エリアより PDF ファイルの表示が大きいとき：拡大せず『幅に合わせる』表示に縮小



- (2) PDF 表示エリアより PDF ファイルの表示が小さいとき：拡大率 1.5 倍



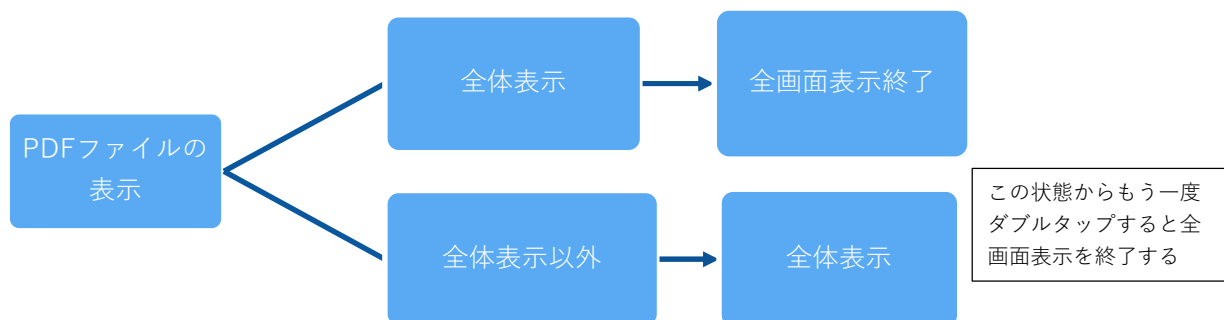
- (3) PDF ファイルの表示が『幅に合わせる』のとき：拡大率 2 倍



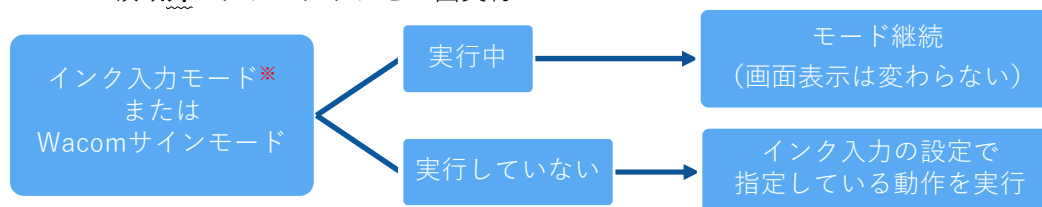
4. 特定条件下での機能

- (1) 全画面表示中（メニュー：[表示]－[全画面表示]）
鉛筆注釈／消しゴム注釈描画中ではない状態

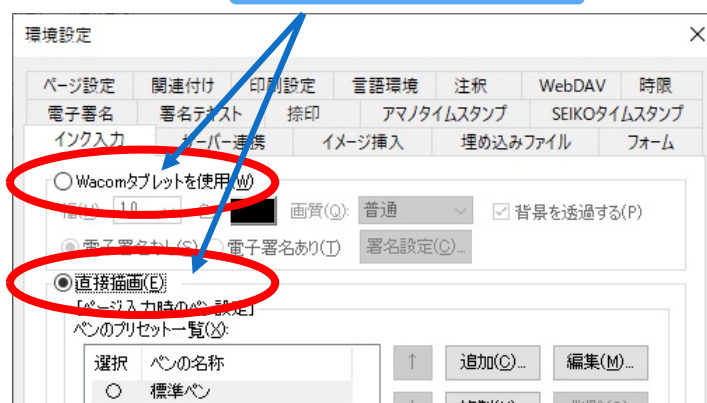
ページ領域内でダブルタップを1回実行



ページ領域外でダブルタップを1回実行



※ SkyPDF Touch Ink for win の機能

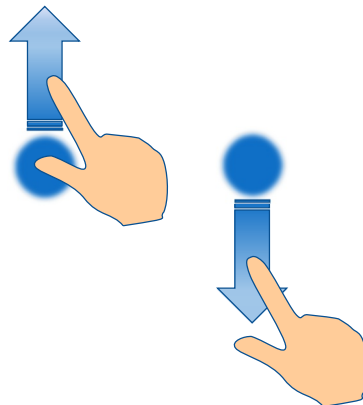


- (2) 鉛筆注釈／消しゴム注釈描画中

- ページ領域をダブルタップ……描画を確定
- ページ領域外をダブルタップ……描画をキャンセル

6.12.4 ページのスクロール（パン）

パン操作で、表示中の PDF ファイルをスクロールします。



1. 使用条件

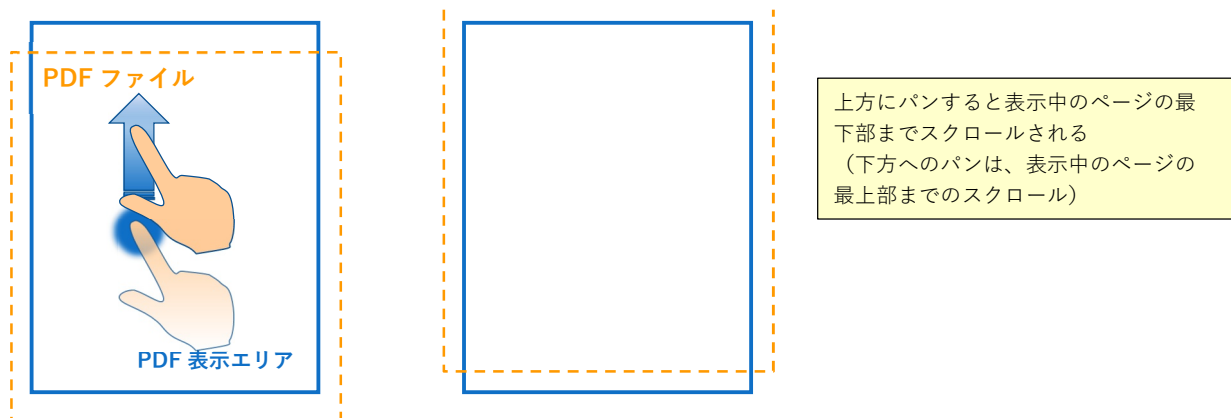
- ページ表示状態：スクロール可能状態
※『ページ単位表示』かつ『全体表示』時は機能しない
- カーソル状態：通常モード（注釈機能等を選択していない状態）

2. 有効範囲

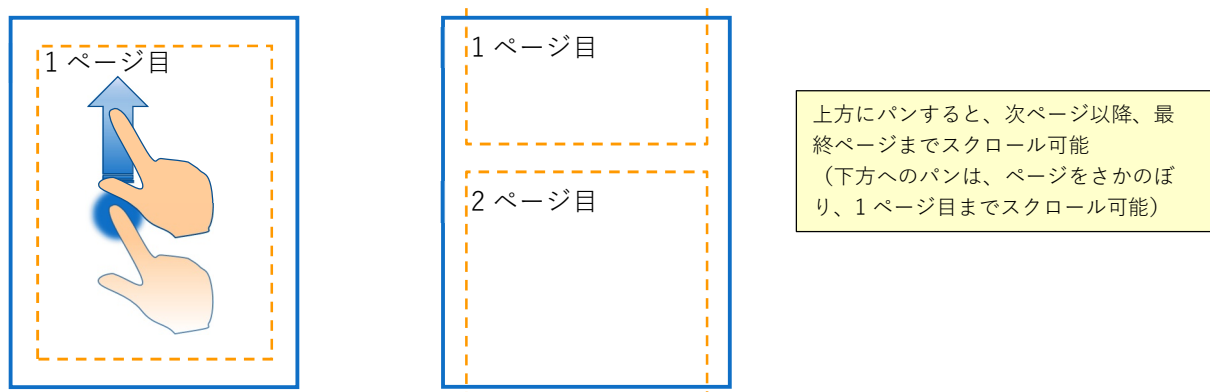
ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外も有効）

※ スクロール時に指をデバイスから離れた場合、スクロールが維持されます（慣性スクロール）

(1) ページ単位表示（表示ページ内のみスクロール）

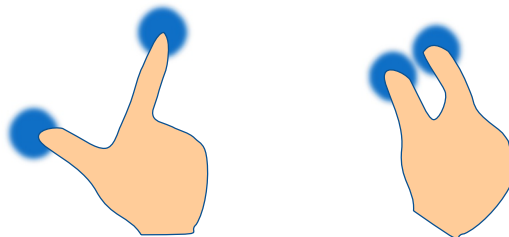


(2) 連続表示（ページをまたいでスクロール可）



6.12.5 ズーム機能（ピンチイン / ピンチアウト）

ピンチイン／ピンチアウト操作で、表示中の PDF ファイルを拡大／縮小表示します。



1. 使用条件

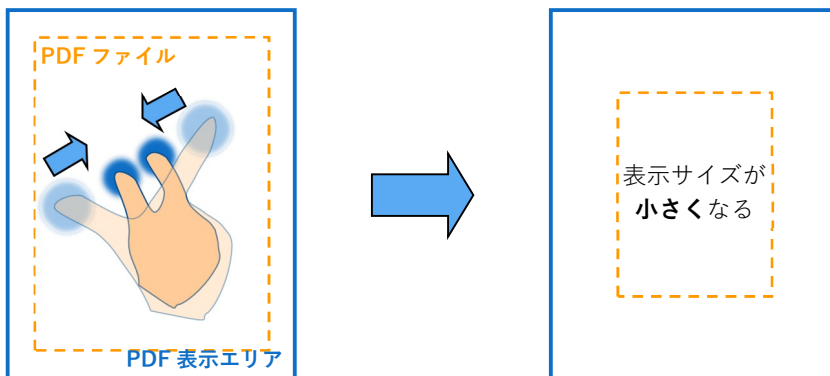
タッチポイント：2点

2. 有効範囲

ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外は無効）

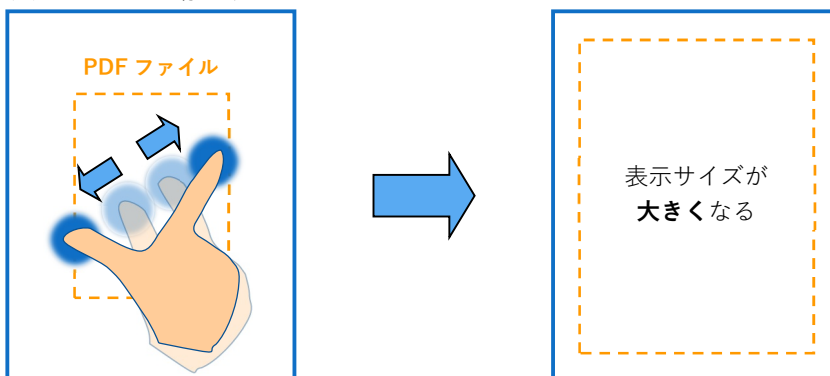
(1) ピンチイン（縮小）

2点間をつまむように動かす



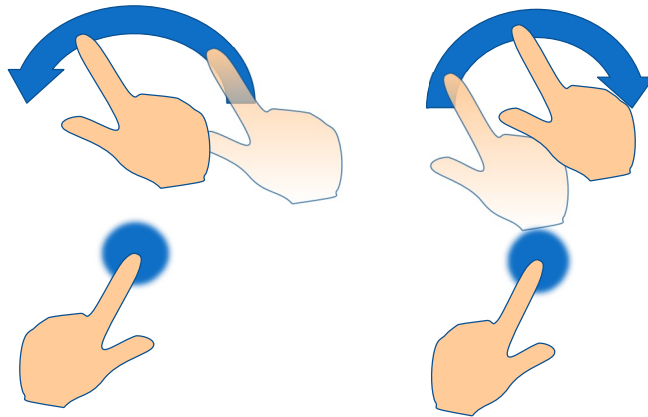
(2) ピンチアウト（拡大）

2点間を広げるように動かす



6.12.6 ページの回転表示（回転）

表示中の PDF ファイルを回転表示します。（メニュー：〔表示〕－〔回転〕と同一動作）



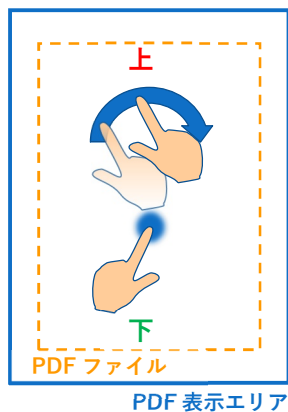
1. 使用条件

タッチポイント：2点

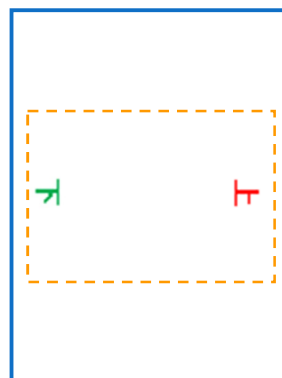
2. 有効範囲

ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外は無効）

(1) 時計回りに 90 度以上



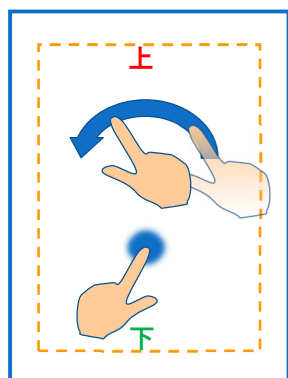
右に 90 度回転



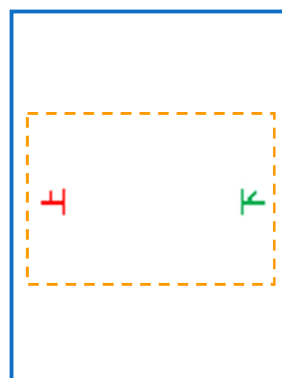
操作のコツ

支点にした指（例では左手）を動かさないようにして、その周りに弧を描くように右手を動かし、両手を同時に画面から離します

(2) 反時計回りに 90 度以上

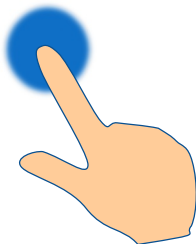


左に 90 度回転



6.12.7 コンテキストメニュー表示（長押し）

画面上を長押しすると、ツールメニュー実行時のコンテキストメニューを表示できます。

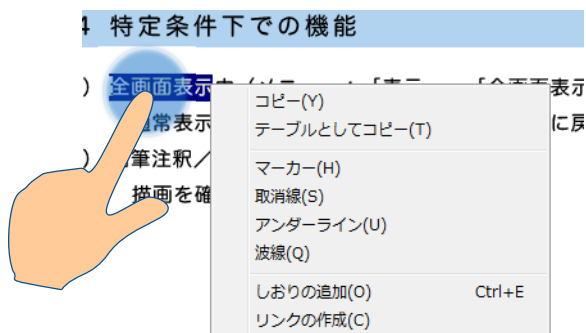


1. 使用条件

- タッチポイント：1点（2点以上は無効）
- タッチ継続時間：1.5 秒以上

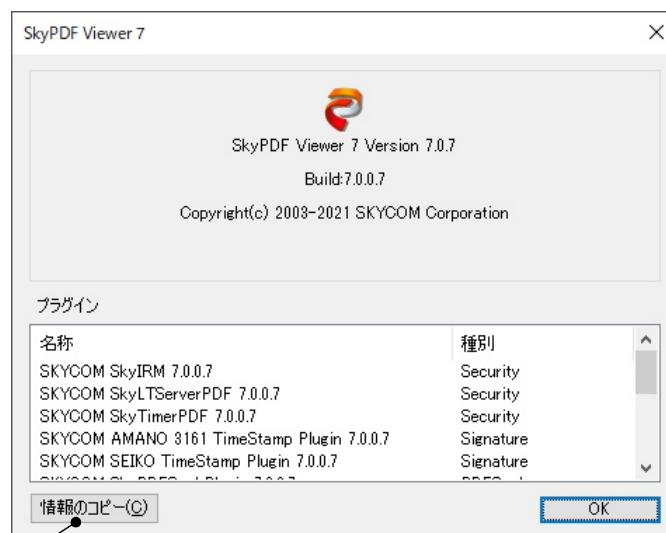
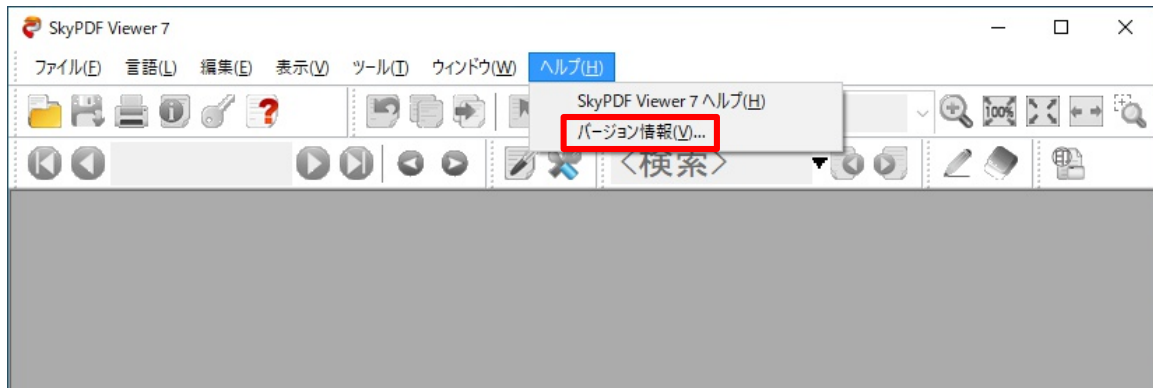
2. 有効範囲

ファイル表示エリア上（PDF ファイルのエリア外では無効）



7 バージョン情報の確認

[ヘルプ] メニューの [バージョン情報] から、本製品のバージョン情報を確認できます。



情報のコピー：
本製品のバージョン情報を
クリップボードにコピーする



SkyPDF Viewer / Standard / Professional 7
ユーザーマニュアル(b.ウィンドウ変更／ファイル操作／閲覧)

第 1 1 版 2 0 2 3 年 4 月 2 6 日 発行